

公立大学法人広島市立大学の概要

2 0 2 0 年 6 月

公 立 大 学 法 人

広 島 市 立 大 学

目 次

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念	1
(2) 沿革	1
(3) 運営組織	(2020年4月1日時点)	2
(4) 学部、大学院、附置研究所の概要	(2020年4月1日時点)	3
(5) 附属施設の概要(概要)	(2020年4月1日時点)	7
(利用状況)	(2019年度)	7
(6) 施設	(2020年4月1日時点)	9
(7) 学年暦	(2020年度)	11
(8) 教職員数(2020年度)	(2020年5月1日時点)	12
(2019年度)	(2019年5月1日時点)	13
(9) 学生数	(2020年5月1日時点)	14
(10) 研究生・留学生等	(2019年度)	14
(11) 入学検定料、入学料、授業料等	(2020年4月1日時点)	15

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2) 特色ある講義科目	(2020年度)	39
(3) 外部資金の獲得状況	(2015年度～2019年度)	42
(4) 科学研究費補助金の内訳	(2019年度)	43
(5) 研究開発費助成制度等の採択状況	(2010年度～2019年度)	48
(6) FD・SD活動実施状況	(2019年度)	54

3 入学試験

(1) 入学試験の概要(学部)	(2021年度入試)	55
(大学院)	(2021年度入試)	56
(2) 入学試験実施状況	(2020年度入試)	57
(3) 年次別競争率等	(2011年度～2020年度入試)	58
(4) 入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部))	(2016年度～2020年度)	59
(5) 社会人入試(大学院)の状況(募集人員等)	(2020年度入試)	60
(入学者数)	(2015年度～2019年度)	61

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況	(2019年度)	62
-------------	----------------	----

目 次

5 就職

(1) 就職・進学等			
ア 学部別の状況	(2019年度)	65
イ 就職率の推移	(2010年度～2019年度)	66
(2) 就職先の構成比			
ア 業種別	(2019年度卒)	67
イ 地域別	(2019年度卒)	68
(3) 就職先企業等一覧	(2019年度)	69

6 社会連携

(1) 産学官連携			
ア 推進体制	(2020年4月1日時点)	72
イ 研究・事業等の実施状況	(2010年度～2019年度)	72
(2) 地域連携			
ア 公開講座	(2019年度)	75
イ その他の事業	(2019年度)	83
ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況	(2019年度)	84
(3) 高大連携			
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(2019年度)	87
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(2019年度)	87
ウ 高校での模擬授業の開催	(2019年度)	88
(4) その他の連携	(2020年4月1日時点)	89

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校	(2020年4月1日時点)	91
(2) 国際交流事業実績	(2019年度)	91

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 1989年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会を設置
- 1991年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 1992年11月 校舎建設工事起工式
- 1993年12月 文部省設置認可
- 1994年4月 開学
- 1996年10月 講堂完成
- 1998年4月 大学院修士課程開設。広島平和研究所（中区）を設置
- 2000年3月 情報科学部棟別館完成
- 2000年4月 大学院博士後期課程開設
- 2003年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 2003年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 2007年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（2007年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（2007年度入学生より）
- 2007年7月 社会連携センターを設置
- 2010年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 2012年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編（2012年度入学生より）
- 2013年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（2013年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 2013年10月 サテライトキャンパス（中区）を開設
- 2014年4月 キャリアセンターを設置
- 2016年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（2016年度入学生より）
- 2016年10月 COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設（2020年3月閉所）
- 2018年4月 国際学生寮「さくら」を開寮
- 2019年4月 大学院平和学研究科（修士課程）を開設

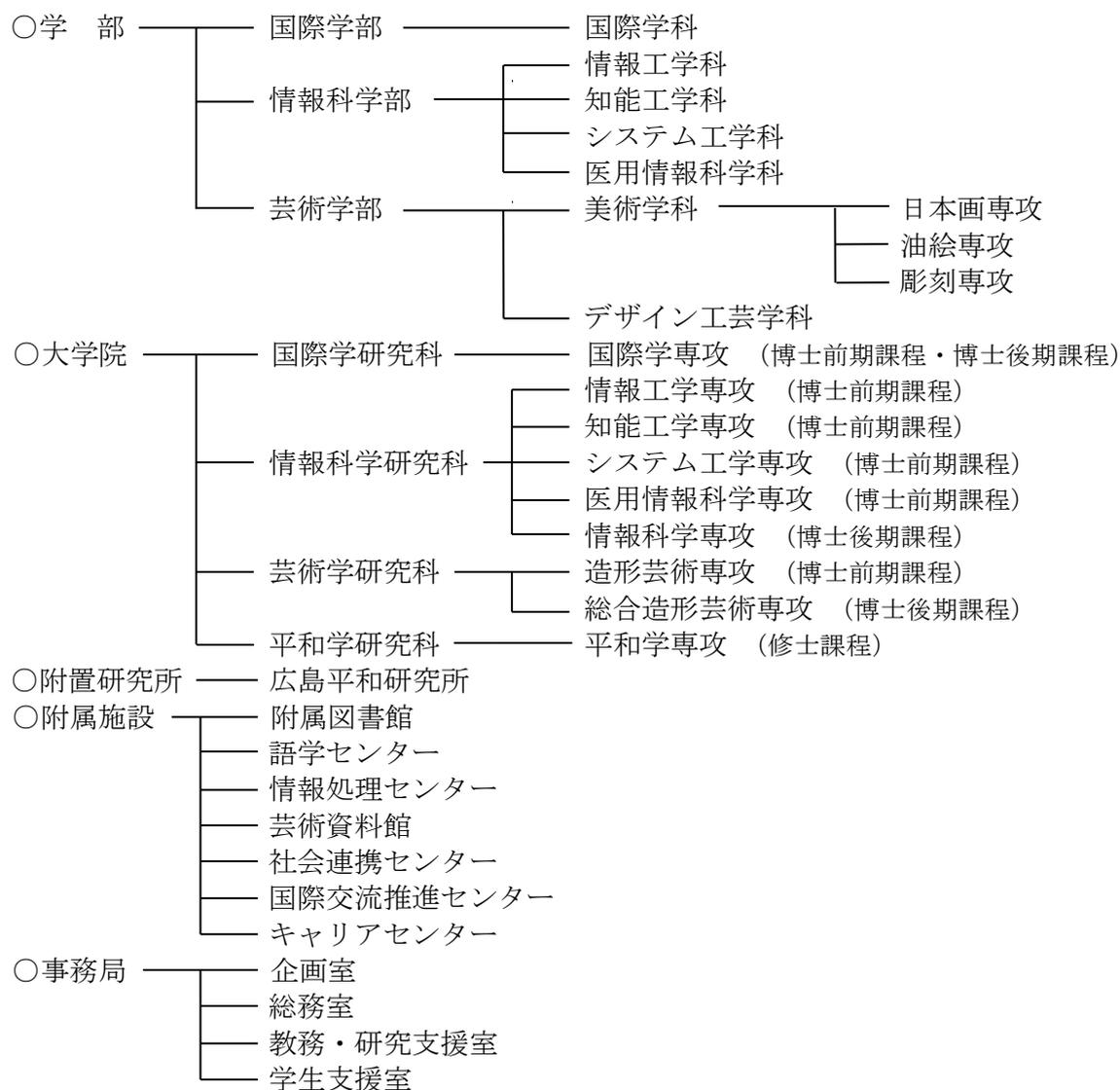
(3) 運営組織 (2020年4月1日時点)

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- ・ 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
- ・ 設立年月日
2010年4月1日
- ・ 資本金
155億1,019万1,000円
(広島市出資額 155億1,019万1,000円 出資割合100%)
- ・ 役員

役職名	氏名	備考
理事長	若林 真一	学長
理事 (企画・戦略担当)	石田 賢治	副学長 (企画・戦略担当)
理事 (教育・研究担当)	渡辺 智恵	副学長 (教育・研究担当)
理事 (総務・危機管理担当)	天野 博司	事務局長
理事 (非常勤)	今中 亘	元(株)中国新聞社社長
理事 (非常勤)	牟田 泰三	元広島大学学長
監事 (非常勤)	大本 和則	弁護士
監事 (非常勤)	吉中 邦彦	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（2020年4月1日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身に付け、世界各地の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「国際ビジネス」、「言語・コミュニケーション」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、さまざまな分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、2002年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(1) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速のキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理及びシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報、自然科学、工学の3分野を医用情報科学分野の基礎と位置付け体系化し、それらを実践的に応用展開する能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性を持って後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家、研究者の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制を整え、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探究し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作に関わる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

(I) 大学院平和学研究科

a 教育方針

平和学研究科は、国際紛争及びグローバル問題の背景・要因を分析する手法を修得するとともに、平和創造及び平和維持に貢献する能力を身に付けるための教育課程を通じ、国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる人材の養成を行っている。

b 研究活動内容

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論関連カリキュラムとアジア、特に東アジアの地域研究関連科目を中心としたカリキュラムの学習を通して、現代アジアの国際関係の構造及び政治・ガバナンスの基本構造と、人間の安全保障との関係を洞察できる能力を養うとともに、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案する能力を修得させることを目指している。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界で最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(1) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要（ジャーナル）及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関するさまざまな問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要 (2019 年度実績)

ア 附属図書館

図書約 34 万冊 (年間受入数約 5,000 冊)、雑誌約 400 誌、視聴覚資料約 1,700 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計も特徴。地域にも開放された図書館である。

○ 利用状況

2019 年度	入館者数	92,428 名 (392 名/日)
	図書貸出	24,657 冊 (104 冊/日)
	〃	10,734 件 (45 件/日)

イ 語学センター

各教室に CALL (コンピュータ支援による言語学習) システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 4,800 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気です留学生と母国語を教え合ったり会話練習をしたりする「ランゲージチューター」プログラムも行われている。

○ 利用状況

2019 年度	自習室の利用者数	35,364 名 (149 名/日)
	〈内訳〉自習者 (その他含む)	32,101 名
	CALL 英語集中・e ラーニング英語受講者	3,263 名

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、一般情報処理科目の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情報サービスシステムの運用管理の支援など、学内のさまざまなネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

2019 年度	実習室の学内利用者数 (講義含む)	35,403 名 (164 名/日)
	実習室の学外利用者数	202 名

自宅等からの仮想環境利用者数 8,647名(24名/日)
(※実習室等には情報科学部演習室・図書館貸出デスクトップを含む)

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約1,300点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは約70点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

- 入場者数
2019年度 4,205名
- 収蔵作品貸出美術展数
2019年度 5件

(6) 施設 (2020年4月1日時点)

ア 校地面積等

面積 (未取得の面積を含む)	取得費 (未取得分を除く)
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建物

施設名	建設工事費
総延床面積 7万9,830㎡	
[内訳]	
・本部棟 (RC造2F)	1,822㎡
・国際学部棟・講義棟 (SRC一部S造7F)	1万2,085㎡
・情報科学部棟・情報処理センター (SRC一部S造8F)	1万8,912㎡
・情報科学部棟別館 (SRC一部S造6F)	5,892㎡
・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟 (SRC一部S造6F)	1万4,086㎡
・第二工房棟 (S造2F)	489㎡
・第三工房棟 (S造2F)	975㎡
・第四工房棟 (S一部RC造1BF2F)	1,277㎡
・図書館・語学センター (RC造4F)	6,310㎡
・講堂 (RC一部S造2F)	2,543㎡
・体育館 (RC一部S造2F)	3,100㎡
・クラブハウス (RC造2F)	400㎡
・第2クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・第3クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・トラック&フィールド倉庫 (RC一部S造1F)	118㎡
・学生寮もみじ (RC造3F)	2,874㎡
・国際学生寮さくら (RC造6F)	2,830㎡
・学生会館 (RC造2F)	2,542㎡
・特殊排水処理施設 (RC造1F)	106㎡
・エネルギーセンター (RC造1F)	1,002㎡
・その他 (コリドール、駐輪場、公用車車庫)	2,257㎡
	総額 329億6,863万円

※ 第3クラブハウスについてはリース物件であり、建設工事費には含まない。

ウ 屋外

トラック&フィールド

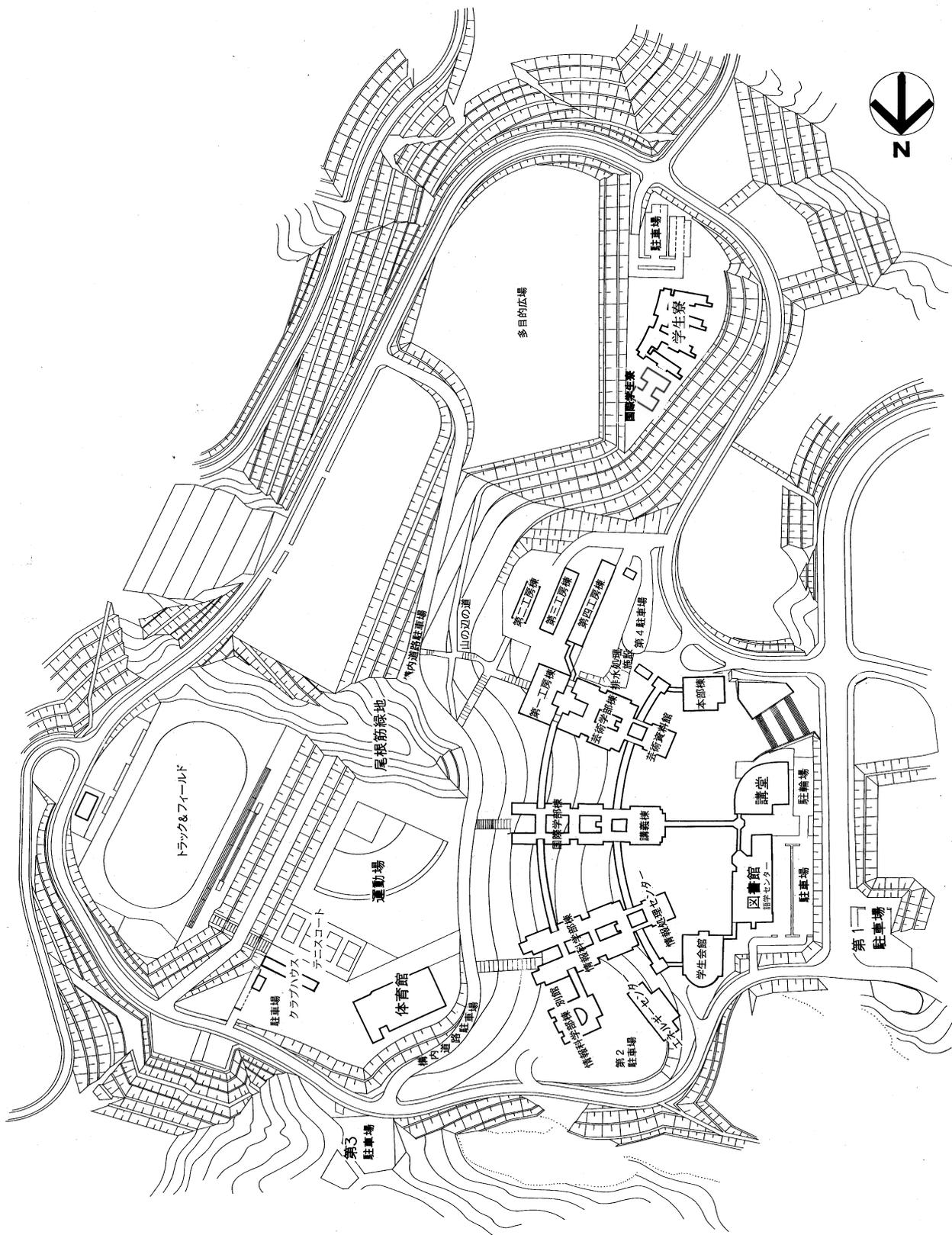
運動場

全天候型テニスコート (4面)

駐車場 (約796台)

駐輪場 (約350台)

エ 施設配置図



施設配置図

広島市立大学

(7) 学年暦 (2020年度)

前期 (4月1日～9月30日)

第1ターム (5/15/6/28)	4月1日 (水) ～7日 (火)	春季休業
	4月8日 (水) ～5月6日 (水)	臨時休業
	5月7日 (木) ・8日 (金)	オリエンテーション
	5月11日 (月)	前期授業開始
	5月7日 (木) ～5月15日 (金)	前期履修手続期間
	6月8日 (月) ～6月19日 (金)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	6月14日 (日)	開学記念日
	6月22日 (月) ～6月26日 (金)	第1ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
第2ターム (6/29/8/20)	7月23日 (木・海の日)	木曜日の授業実施
	7月24日 (金・スポーツの日)	金曜日の授業実施
	7月23日 (木) ～8月11日 (火)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	8月6日 (木)	平和記念日 (全学休業日)
	8月11日 (火)	木曜日の授業実施
	8月12日 (水) ～8月20日 (木)	前期定期試験
	8月21日 (金) ～9月30日 (水)	夏季休業
	8月21日 (金) ・24日 (月) ・9月11日 (金)	全学休業日
	9月25日 (金)	秋季卒業式

後期 (10月1日～3月31日)

第3ターム (10/15/11/26)	10月1日 (木)	後期授業開始、秋季入学式
	10月1日 (木) ～14日 (水)	後期履修手続期間
	10月24日 (土) ・25日 (日)	大学祭
	11月5日 (木)	火曜日の授業実施
	11月6日 (金) ～11月19日 (木)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	11月20日 (金) ～11月26日 (木)	第3ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
	11月23日 (月・勤労感謝の日)	月曜日の授業・試験実施
第4ターム (11/27/1/27/2/10)	11月27日 (金)	防火・防災訓練の日
	12月22日 (火) ～1月3日 (日)	冬季休業
	1月15日 (金)	大学入学共通テスト準備 (授業は行わない。)
	1月18日 (月) ～1月29日 (金)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	2月1日 (月) ～2月10日 (水)	後期定期試験
	2月11日 (木) ～3月31日 (水)	学年末休業
	3月23日 (火)	春季卒業式

(8) 教職員数

ア 2020年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		19 (4)	18 (3)	6 (0)			43 (7)	
	男		13 (3)	12 (2)	3			28 (5)	
	女		6 (1)	6 (1)	3			15 (2)	
情報科学部	小計		26	33	18	17	2	96 (0)	
	男		24	32	17	16	2	91 (0)	
	女		2	1	1	1		5 (0)	
芸術学部	小計		14 (1)	9	6	3		32 (1)	
	男		14 (1)	6	5	1		26 (1)	
	女			3	1	2		6 (0)	
広島平和研究所	小計		5 (2)	5 (3)			3	13 (5)	
	男		5 (2)	2 (1)			3	10 (3)	
	女			3 (2)				3 (2)	
企画室	小計						2	2 (0)	
	男						2	2 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						3	3 (0)	
	男						3	3 (0)	
	女							0 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	64 (7)	65 (6)	30 (0)	20 (0)	11 (0)	193 (13)
	男	1	1	56 (6)	52 (3)	25 (0)	17 (0)	11 (0)	163 (9)
	女	0	1	8 (1)	13 (3)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	30 (4)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	
非常勤講師	計	74	120	194 (19)
	男	63	91	154 (14)
	女	11	29	40 (5)

※ 2020年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	49	32	14
	男	22	5	-
	女	27	27	-
社会連携センター	小計	5	2	0
	男	0	1	-
	女	5	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	2
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	56	35	16
	男	22	6	-
	女	34	29	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	4
	男	0
	女	4

※ 職員 … 2020年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 2020年5月1日現在
臨時職員 … 2020年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 2019年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		19 (4)	19 (3)	6 (1)			44 (8)	
	男		13 (3)	13 (2)	3			29 (5)	
	女		6 (1)	6 (1)	3 (1)			15 (3)	
情報科学部	小計		25	33	20	18	1	97 (0)	
	男		24	31	19	17	1	92 (0)	
	女		1	2	1	1		5 (0)	
芸術学部	小計		14 (1)	8	5	3		30 (1)	
	男		14 (1)	5	5	2		26 (1)	
	女			3	0	1		4 (0)	
広島平和研究所	小計		7 (2)	6 (3)			2	15 (5)	
	男		6 (2)	3 (1)			2	11 (3)	
	女		1	3 (2)				4 (2)	
企画室	小計						2	2 (0)	
	男						2	2 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						7	7 (0)	
	男						6	6 (0)	
	女						1	1 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	65 (7)	66 (6)	31 (1)	21 (0)	13 (0)	199 (14)
	男	1	1	57 (6)	52 (3)	27 (0)	19 (0)	12 (0)	169 (9)
	女	0	1	8 (1)	14 (3)	4 (1)	2 (0)	1 (0)	30 (5)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計
非常勤講師	78	138	216 (23)
男	63	109	172 (18)
女	15	29	44 (5)

※ 2019年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	49	32	14
	男	25	5	-
	女	24	27	-
社会連携センター	小計	5	2	0
	男	0	1	-
	女	5	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	2
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	56	35	16
	男	25	6	-
	女	31	29	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員
事務局	2
男	0
女	2

※ 職員 … 2019年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 2019年5月1日現在
臨時職員 … 2019年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数 (2020年5月1日時点)

ア 学部

(単位:人)

学部	学科	総定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国際学部	国際学科	400	23	92	115	30	81	111	31	80	111	51	89	140	135	342	477
情報科学部	(学部所属)	-	189	41	230	1		1			0			0	190	41	231
	情報工学科	240			0	67	13	80	69	12	81	44	7	51	180	32	212
	知能工学科	240			0	55	14	69	54	12	66	53	14	67	162	40	202
	システム工学科	240			0	59	11	70	54	12	66	56	12	68	169	35	204
	医用情報科学科	120			0	42	8	50	23	9	32	18	11	29	83	28	111
	計	840	189	41	230	224	46	270	200	45	245	171	44	215	784	176	960
芸術学部	美術学科																
	日本画専攻	40	4	9	13		13	13	1	9	10	2	8	10	7	39	46
	油絵専攻	80	5	17	22	6	16	22	4	17	21	8	16	24	23	66	89
	彫刻専攻	40	4	6	10	3	10	13	4	6	10	3	9	12	14	31	45
	小計	160	13	32	45	9	39	48	9	32	41	13	33	46	44	136	180
	デザイン工芸学科	160	3	39	42	3	41	44	7	35	42	5	45	50	18	160	178
計	320	16	71	87	12	80	92	16	67	83	18	78	96	62	296	358	
合計		1,560	228	204	432	266	207	473	247	192	439	240	211	451	981	814	1,795

イ 大学院

(単位:人)

研究科	専攻	総定員	1年次			2年次			3年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
研究国際科学	国際学	30	3	7	10		7	7			0	3	14	17
	国際学(後期)	21	1		1	1		1	3	2	5	5	2	7
	計	51	4	7	11	1	7	8	3	2	5	8	16	24
研究情報科学	情報工学	46	19	2	21	13		13			0	32	2	34
	知能工学	46	12		12	15	3	18			0	27	3	30
	システム工学	46	17	4	21	17	3	20			0	34	7	41
	医用情報科学	30	7	1	8	6	3	9			0	13	4	17
	(前期計)	168	55	7	62	51	9	60	0	0	0	106	16	122
	情報科学(後期)	84	4	0	4	0	0	0	6	0	6	10	0	10
計	252	59	7	66	51	9	60	6	0	6	116	16	132	
研究芸術科学	造形芸術専攻	60	11	15	26	6	23	29			0	17	38	55
	総合造形芸術(後期)	18	1	2	3	2	3	5	3	4	7	6	9	15
	計	78	12	17	29	8	26	34	3	4	7	23	47	70
研平和科学	平和学専攻	20	5	2	7	2		2			0	7	2	9
	計	20	5	2	7	2	0	2	0	0	0	7	2	9
計	前期	278	74	31	105	59	39	98	0	0	0	133	70	203
	後期	123	6	2	8	3	3	6	12	6	18	21	11	32
合計		401	80	33	113	62	42	104	12	6	18	154	81	235

(10) 研究生・留学生等 (2019年度)

(単位:人)

区分	人数	摘要
研究生	0	
外国人研究生	25	中国23、インドネシア2
科目等履修生	8	中国2、シリア1
特別聴講学生	38	中国12、ドイツ13、フランス7、韓国5、カナダ1
外国人留学生	67	中国53、ベトナム6、韓国5、フランス1、ガーナ1、台湾1

※ 外国人留学生は、2019年度12月31日の在籍状況。その他は2019年度の受入数

※ 2019年度外国人留学生の学部等別内訳

国際学部25、情報科学部5、芸術学部1、国際学研究科11、情報科学研究科6、芸術学研究科19

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（2020年4月1日時点）

区 分		金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)
		大学院	30,000円
	研究生		9,800円
	科目等履修生		9,800円
入学料	学生	市内の者	282,000円
		市外の者	423,000円
	研究生	市内の者	84,600円
		市外の者	126,900円
	科目等履修生	市内の者	28,200円
		市外の者	42,300円
授業料	学生		年額 535,800円
	研究生		月額 29,700円
	科目等履修生		1単位につき 14,800円
	特別聴講学生		1単位につき 14,800円
公開講座受講料		1講座につき5時間まで	5,200円
		1講座につき5時間を超える時間5時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料		1件につき	57,000円
学生寮使用料		月額	5,900円
国際学生寮使用料		月額	20,000円
		日額	710円
証明書交付手数料		1件につき（証明書又は翻訳文書の用紙1枚を1件とする。）	350円

※1 この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

※2 国際学生寮使用料の日額については、短期滞在者に適用する。

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、感性豊かな人間性を涵養するとともに、新しい時代の潮流に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を開設します。
2. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考し判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 人文・社会科学の専門的な知見や理論についての幅広く系統的な知識
2. 分野を統合して学際的に思考・探究する知識・技能

（思考力・判断力・表現力）

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知見や理論を基に社会の諸問題を探究し、根拠に基づいて論理的に考え判断する能力（思考力・判断力）
2. 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力（表現力）

（主体性・協働性）

1. 社会が抱える課題を自発的に見出し、その解決に取り組む姿勢（主体性）
2. グローバル化が進展する世界の中で、多様な背景を持った人々と共に生き、かつ社会を築いていくために他者と協働する態度（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

1. 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

(学際的なカリキュラム編成)

1-2. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解するための学際的なカリキュラムを編成し、分野を統合して思考・判断し、国際社会や地域社会の諸問題を多面的・複眼的に解決できる能力を養成します。

(少人数教育)

1-3. 演習や各授業クラスを少人数で編成し、対話を通じた主体的で深い学びを推進するとともに、少人数教育ならではの濃密できめ細かな指導を行います。

(専門基礎科目)

2. 国際学部における専門分野を学ぶ上で基礎となる知識と技能を修得し、国際学部での学びを展望することを目的に、専門基礎科目を開設します。

(専門科目)

3. 専門的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力を高めるため、以下のプログラム分野に専門科目を開設します。専門科目では、人文・社会科学の理論や知見を幅広く系統的に理解するとともに、学際的な視野を開くことを目指します。

(3-1) 国際政治・平和プログラム

紛争、テロ、難民、開発、環境などの地球規模の課題を解決するため、国際関係の理論や歴史、平和研究の方法や実践について学ぶ科目

(3-2) 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するため、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方、市民・NPO・政府などが果たす役割について学ぶ科目

(3-3) 多文化共生プログラム

国家、地域、民族、文化の垣根を越えて、多様な考え方を持つ人々との共生に関する理論や実践について学ぶ科目

(3-4) 言語・コミュニケーションプログラム

人間の社会的営みの基礎である言語・コミュニケーションに関する諸問題を学ぶ科目

(3-5) 国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題など、国際的な視点からビジネスについて学ぶ科目

(領域認定)

4. 専門科目のプログラム科目群のひとつで、所定の単位数を修得した場合、当該プログラム領域を主専攻として専門に履修したことを認定します。

(外国語運用能力を発展させる科目)

5. 実践的な外国語運用能力を身に付け発展させるため、国際学部専門科目として英語特講科目群を開設します。また、英語を含む外国語で授業を行う専門科目を各プログラム

科目群や国際研究特講科目群に開設します。

(演習科目、卒業論文)

6. 発表や討論などの主体的な学修を重視する少人数双方向での演習科目を、1年次から4年次まで継続して開設します。自らのテーマを多面的に追究するため、3年次には複数の専門演習の履修を可能とします。各年次の演習は、国際学部における学修の集大成としての卒業論文に有機的につなげる指導と結び付けます。

(6-1) 国際学部における学びに必要な知識・技能や協働性に加え、関心・意欲を持って学び続ける態度を身に付ける基礎演習（1年次）

(6-2) 専門分野を見極め、論理的な思考力・判断力・表現力に磨きをかける発展演習（2年次）

(6-3) 専門性を磨き、応用力を養うための専門演習（3年次）

(6-4) 自らのテーマを専門的かつ総合的に追究し、学修の集大成として卒業論文を執筆する卒論演習（4年次）

(キャリア教育)

7. 実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を開設します。

(グローバル人材育成)

8. グローバルな視点から国際社会や地域社会に貢献できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外インターンシップなど、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

(地域志向人材育成)

9. 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、地域再生や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。

そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

(知識・技能)

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

(思考力・判断力・表現力)

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人。
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

(主体性・協働性)

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、情報工学及び情報科学分野の専門的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境を創造できる人材（情報工学科）
2. 人間の知的コミュニケーション及び情報行動を支援する知的情報システムを開発・研究できる人材（知能工学科）
3. 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで、システム全体の調和と協調を図った創造的な解決策を提案できる人材（システム工学科）
4. 情報科学・自然科学・工学にわたる広範な領域における知識や技術を組み合わせ、医用生体工学をはじめとする融合分野で活用することができる人材（医用情報科学科）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文の執筆と発表を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（情報工学又は情報科学）」の学位を授与します。

(知識・技能)

1. 以下の分野における専門的な知識・技能。

〔情報工学科〕

コンピュータとネットワークに関するハードウェア（回路など）やソフトウェア（プログラムなど）の技術を基に、コンピュータとネットワークの融合技術やコミュニケーション技術の開発・活用などに取り組む研究分野。

〔知能工学科〕

人と人、人と機械のコミュニケーションの円滑化や創造的活動の支援を実現するための人工知能などの知的情報システムの仕組み、膨大なデータから法則性を見つけ出す情報解析技術などに関する研究分野。

〔システム工学科〕

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、ロボット開発のためのシステム化技術や、ロボットや情報機器をより快適に使うための機器開発などに取り組む研究分野。

〔医用情報科学科〕

安心・安全で豊かな社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する知識・技能を基に、医療、生命、環境等の分野における諸問題の解決に向け、既存の学問体系の枠を超えて取り組む研究分野。

2. グローバル化が進む社会で応用できる英語力。

(思考力・判断力・表現力)

1. 情報科学とその応用分野における専門的な知識・技能に基づき総合的に思考し、論理的・合理的に判断する能力。(思考力・判断力)
2. 自らの考えを論理的に分かりやすく表現する能力。(表現力)

(主体性・協働性)

1. 自ら課題を発見して目標を設定し、情報科学の切り口から課題の解決に向けて主体的に取り組む態度。(主体性)
2. グローバル化の進展や高度情報化など社会が変化する中で、多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決や新たな価値の創造に向けて協働して取り組む態度。(協働性)

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

(全学共通系科目)

1. 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

(数学、プログラミング及び英語の重点的な教育)

- 1-2. 情報科学を学ぶ上での基礎となる数学、プログラミング及び英語の重点的な教育を行います。

(学生の多様化への対応)

- 1-3. 少人数教育、習熟度別のクラス編成、主体的・対話的で深い学びの推進などにより、知識や学力の多様化した学生に対して効果的な教育を行います。

(専門基礎科目)

2. 情報科学の基礎的・普遍的な知識・技能を修得するため、専門基礎科目を開設します。
また、専門基礎科目を履修した上で、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを導入します。

(専門科目)

3. 各学科の専門分野における専門的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、専門科目を開設します。

[情報工学科]

- (3-1) コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術及び運用技術分野
 - ・ (3-1-1) コンピュータ及びネットワークの基盤技術と専門知識を身に付ける科目
 - ・ (3-1-2) コンピュータの先端的な技術と専門知識を身に付ける科目
 - ・ (3-1-3) ネットワークの先端的な技術と専門知識を身に付ける科目
 - ・ (3-1-4) コンピュータとネットワークの融合技術と運用技術を身に付ける科目

[知能工学科]

- (3-2) 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
 - ・ (3-2-1) ソフトウェア開発のための技能と情報処理理論の基礎を身に付ける科目
 - ・ (3-2-2) 知識情報処理・メディア情報処理とその数理を中心とする知能工学に関する知識を身に付ける科目
 - ・ (3-2-3) 人間の知的コミュニケーションや情報行動を支援するシステムを開発する実践的技能を身に付ける科目

[システム工学科]

- (3-3) 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで人と機械の調和と協調を図るシステ

ム技術分野

- ・(3-3-1) システム工学の基盤である数学・情報・工学に関する知識と応用力を身に付ける科目
- ・(3-3-2) さまざまな分野で活躍するロボットと人間の共生に必要な専門知識を身に付ける科目
- ・(3-3-3) 人が機械と快適にコミュニケーションを図るためのインタフェースデザインに関する専門知識を身に付ける科目

[医用情報科学科]

(3-4) 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関する融合分野

- ・(3-4-1) 情報科学・自然科学・工学の3つを柱とした基礎学力を身に付ける科目
- ・(3-4-2) 情報科学・自然科学・工学を基盤とし、融合・発展させた医用情報科学の専門知識を身に付ける科目
- ・(3-4-3) 医用情報科学を展開し、医用情報システムへと応用する実践的能力を身に付ける科目

(実験科目、卒業研究)

4. 実験、演習、口頭発表などの体験的・総合的な学修を重視した以下の科目を開設します。
- ・(4-1) 専門基礎科目で修得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成するための実験科目
 - ・(4-2) 専門科目で修得した知識を具体化させ、思考力、洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成するための実験科目
 - ・(4-3) 研究に対する方法論、問題解決力を身に付け、研究の成果、意義、有用性を論理的にまとめ、発表、討論する能力を育成するための卒業研究

(キャリア教育)

5. 技術者・研究者としての使命感・倫理観の養成、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を開設します。

(グローバル人材育成)

6. 技術者・研究者としてグローバルに活躍できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外での研究発表など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

(地域志向人材育成)

7. 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、情報科学を用いた地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの

地域志向科目を開設します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。

情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。

そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

（関心・意欲）

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

（知識・技能）

情報工学・情報科学を学ぶ上で土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人。

（思考力・判断力・表現力）

- ・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

（主体性・協働性）

- ・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
- ・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

(ウ) 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、創造性に富んだ創作と先見性、独創性に富んだ表現・研究を発信できる人材。
2. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、地域や産業などさま

ざまな社会分野において、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを自らの創作と社会で生かすための資質・能力を身に付けた上で卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 以下の分野における専門的な知識・技能。

〔美術学科〕

- ・日本画における伝統的絵画表現、技法材料研究、独創的な絵画表現を探究する分野。（日本画専攻）
- ・西洋の伝統的絵画である油絵の本質を理解し、絵画の新しい造形と表現を探究する分野。（油絵専攻）
- ・彫刻の伝統と芸術文化の歴史を踏まえ、現代における独創的な造形表現を探究する分野。（彫刻専攻）

〔デザイン工芸学科〕

現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形といった、社会や生活に関わる造形・表現を探究する分野。

2. 修得した専門的な知識・技能を基に新たな創作を生み出す応用力。

（思考力・判断力・表現力）

1. 専門的な知識・技能とそれらを修得する中で磨いた感性と表現力を基に、次代の文化芸術の創造を目指し、柔軟な思考を持って、独創的な創作に向けて判断する能力。（思考力・判断力）
2. 創作に込めた自らの考えを作品と言葉によつて的確に他者や社会に伝える能力。（表現力）

（主体性・協働性）

1. 自らの創作を社会との関わりの中で主体的に生かそうとする。（主体性）
2. 自らの創作を通じて他者と協働して取り組む。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

1. 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊か

な人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

(基礎実技の重視と応用力の修得)

1－2. 自らの表現を追求するために必要な観察力と造形力を養成するため、専門基礎科目及び専門科目において基礎実技の修得を重視した教育を行います。また、修得した基礎実技を基に新たな創作を生み出す応用力を養成します。

(少人数教育と領域横断的な教育)

1－3. 少人数教育によるきめ細かな指導のもと、それぞれの分野における専門的な知識・技能を高めるとともに、学生の表現や創作の幅を広げることを目的として領域横断的な教育を行います。

(専門基礎科目)

2. 芸術を学び専門性を高めていく上での基礎となる知識・技能を修得するため、芸術の理論、歴史に関する科目、技術や素材に関する科目等で構成する専門基礎科目を開設します。

(専門科目)

3. 専門性の高い知識・技能を段階的、体験的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付け、創作を通じて主体性、協働性を養うための実習・演習を主とした専門科目を開設します。

(1) [学部共通]

- ・専門基礎科目で修得した知識・技能を自らの創作に展開する能力を育成する実習・演習科目
- ・国内外の古典芸術について事前調査・実地研究を行い、より専門的な知見を修得する科目「古美術研究」
- ・専門科目で修得した創作能力を自らの研究テーマに展開し、成果を上げる能力を育成する科目
- ・創作活動における言語化能力と視覚的伝達能力の向上を図るため、実習・演習等の科目の中でプレゼンテーションを課します。また、教員と学生、あるいは学生同士が積極的に意見交換を行う場を設け、学生の芸術観を育成し、他者に自らの考えを伝えるための能力を身に付けます。
- ・専門基礎科目、専門科目で修得した創作能力を社会や地域の課題解決に展開できる能力を育成する科目

(2) [美術学科日本画専攻]

日本画専攻では、基礎的な描写力と材料技法に関する専門知識の修得及び独創的な表現の獲得を目指すため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-1-a) 絵画表現の基礎となる観察力、描写力を身に付ける科目
- ・(3-1-b) 絵画表現の構成力を高めるために、線や形、色彩、さらに立体的な造形力、空間把握能力を身に付ける科目
- ・(3-1-c) 日本画の伝統的・専門的な基礎知識、思考方法、材料技法の修得、及び独創的な絵画表現を身に付ける科目
- ・(3-1-d) より高度で専門的な材料技法を身に付ける科目
- ・(3-1-e) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身に付ける科目

(3) [美術学科油絵専攻]

油絵専攻では、油絵の創作に必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-2-a) 油絵を思考し創作する基礎を身に付ける科目
- ・(3-2-b) ヨーロッパ絵画のセオリーを基に、油絵の材料や技法の基礎を段階的に身に付ける科目
- ・(3-2-c) 人体モデルによる学習を基軸に置き、立体的・空間的把握能力を養い、身に付けた基礎技術を独自の絵画表現に展開する力を身に付ける科目
- ・(3-2-d) 専攻の特色である充実した版画設備を活用し、「銅版画」や「木版画」などの版式を用いたグラフィカルな表現を身に付ける科目
- ・(3-2-e) 西洋の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身に付ける科目

(4) [美術学科彫刻専攻]

彫刻専攻では、彫刻の創作に必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-3-a) 彫刻を思考し創作する基礎を身に付ける科目
- ・(3-3-b) 彫刻の伝統的な素材である木・石・金属・土の加工技術の基礎を身に付ける科目
- ・(3-3-c) 修得した知識・技能を用い、自身の考えを彫刻として表現する応用力や展開力を実践的に身に付ける科目
- ・(3-3-d) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身に付ける科目
- ・(3-3-e) 彫刻芸術の幅広い理念、素材、技法、歴史について学修するとともに、キャリア

ア形成につながる能力を身に付ける科目

(5) [デザイン工芸学科]

デザイン工芸学科では、デザインや工芸に必要な知識・理論・技法等を学び創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・ (3-4-a) 創作活動の基礎として必要となる観察、調査、構想、実験、制作、検証、記録の方法を修得し、幅広い表現技法と基礎的な造形感覚を身に付ける科目
- ・ (3-4-b) 7つの専門分野の中から選択し、各分野独自の教育課程の中で専門的な基礎技術を身に付ける科目
- ・ (3-4-c) 修得した基礎技術をより専門性の高い創作と展開力を身に付ける科目
- ・ (3-4-d) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見に基づく美意識を身に付ける科目
- ・ (3-4-e) 与えられた「テーマ」に沿って創作を行い、展示、発表までの過程を主体性、協働性を持って実行できる力を身に付ける科目

(卒業制作)

4. (3-5) 学部4年間の学修・研究・創作の集大成となる作品を制作し、公開展示を通じて社会に発表する力を養う卒業制作を開設します。

(キャリア教育)

5. 芸術の専門的な知識・技能を生かして社会で活躍できる能力を養成するため、専門科目の中で学生のキャリア形成を支援する教育を行います。

(グローバル人材育成)

6. グローバルな視点に立った創作を行うことができるよう、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

(地域志向人材育成)

7. 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、芸術による地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

(知識・技能)

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

(思考力・判断力・表現力)

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

(主体性・協働性)

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身に付けた上で研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する3研究科及び修士課程を有する1研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化

と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、現代社会の問題点や課題を自ら発見し、解決に貢献したり指導力を発揮したりできる実践的な能力を備えた人材
2. 独自性及び独創性をもって研究や諸活動に携わることができる教育者・研究者・実務者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下のいずれかの学識・能力を身に付けた上で、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- ・それぞれの専門分野（国際関係研究、公共政策研究、経営政策研究、社会文化研究、言語文化研究）における十分な学識と、グローバル化時代における諸課題を多面的かつ的確に分析し考察できる能力、及び高い研究能力
- ・国際学研究科における学修を通じて研鑽し身に付けた学識と、文系実務者としての能力

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身に付けた上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- ・グローバル化時代において国際社会とそれを構成する多様なコミュニティが抱える諸課題を各専門分野の理論や方法を用いて分析する国際社会研究分野、あるいは日本をはじめ世界各地域を対象として政治・経済・文化・言語などについて多面的に研究を深める地域研究分野における高度な学識
- ・研究者として自立できる研究能力と独自性の高い研究成果を達成できる能力
- ・課程修了見込者及び課程修了者と同等以上の学力及び研究能力（博士学位請求論文を提出して審査に合格した者）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を基本理念としています。国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化等に関わる課題の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題点や課題を自ら発見し解決できる実践的な人材の養成と、独自性の高い研究や諸活動に携わることのできる教育者・研究者・実務者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目（広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。）は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成します。

2. 研究科開設科目

政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際学研究科特有の特色を持った専門研究に取り組めるように、専門基礎科目群と専門研究科目群（国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群）を設置するとともに、これらの領域を横断する地域研究や平和研究に関わる多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

(1) 専門基礎科目

研究者及び高度文系実務者を養成するために、専門基礎科目、国際研究特講、特別講

義・演習を開設します。

専門基礎科目として、人文・社会科学研究の基本的なアプローチ方法とアカデミック・スキルズ、及び統計処理・分析に必要な基礎知識を習得する科目を開設します。また、特に広島と世界の関連に着目した修士（平和学）の学位取得を目指す院生を対象とした平和学コア科目群や、国際研究特講としてのピース・インターンシップ等を配置します。

（２）専門研究科目群

2-1. 国際関係研究群

グローバル化時代の国際社会やそれを構成するさまざまなコミュニティの変化に対応できる能力を養成することを目的に、国家、国際組織、市民や非政府組織など多様な主体の相互関係を、歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。また、世界各地の国際関係史や政治外交史に関する高度な専門研究を通じて、課題解決能力を高めることを目指します。

2-2. 公共政策研究群

多様化する現代社会の課題について、公共関連組織や民間企業などの役割や機能を考察しながら分析し対処できる能力を高めることを目的に、経済・社会の諸側面から理論的・実践的に学ぶ専門科目を開設します。経済政策、国際開発、環境経済、都市経済、非営利組織、情報メディア、持続可能な開発のための教育などの分野で、公共政策に関する高度な専門研究を通じた実践的能力を高めることを目指します。

2-3. 経営政策研究群

グローバル化が進む事業環境で活動する組織や企業に求められる組織経営手法とビジネス・センスを磨くことを目的に、経営に関わる諸課題を、理論的・実践的に学ぶための専門科目を開設します。国際経営、マーケティング、人的資源管理、会計、国際商務、多国籍企業、国際金融などの専門研究を通じて、実際の経営に生かせる、長期的・多角的視野での柔軟かつ創造的な実践的能力を高めることを目指します。

2-4. 社会文化研究群

複雑化が進行する世界と、多様化が進む地域の双方の課題に、人間とその社会に対する深い理解をもって対処できる能力を身に付けることを目的に、社会と文化の諸側面を歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。世界各地の社会や文化に関して、歴史学、社会学、文化人類学、哲学などの専門研究を通じて、多様化が進む社会の中で、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

2-5. 言語文化研究群

言語と文化に関わるさまざまな課題を専門的な理論や方法に基づき、研究することを目的とし、言語や文化が人々の社会的営みに果たす役割を深く学ぶための専門科目を開設します。日本語及び外国語教育、比較言語、言語政策、文学、異文化理解、通訳・翻訳

などの専門研究を通じて、言語や文化に関わる分野に造詣を深めるとともに、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

博士後期課程

国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティの多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際社会研究分野と地域研究分野の2つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 国際社会やそれを構成するさまざまなコミュニティが抱える諸課題について、専門的なアプローチを用いて課題の発見や解決に取り組もうとしている人
2. 専門性を深めるために探究し、思考や議論を深めるための論理性や説得力を備えている人
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識及び研究に必要な語学力を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高め研究や職業に役立てようとする人
4. 本研究科での学びを通じて、自己研鑽に努めたい人

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身に付けた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野を持った研究開発能力を身に付けた人材
4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高度な専門的技術と理論を修得した上で、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野

- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得した上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目
 - 情報科学の最先端事項を修得する科目
 - 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）
 - 創造性と自立性及び問題解決能力を育成する科目
 - 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力及び実践的課題解決能力を育成するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、及び研究成果の社会的還元を目指す科目

- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けた上で、以下の修了作品（研究報告書を含む）又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあっては、専門的な技術を持ち、独創的な表現を追求した作品。
- 修士論文にあっては、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行っている論文。

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。
- 研究作品にあっては、高度に専門的な技術を持ち、独創的で卓越した表現を追求した上で、さらなる芸術上の展開が期待できる作品。
- 博士学位論文にあっては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自

な洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、及び芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身に付けることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究及び発表
 - 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
 - 理論構築能力を養う論文作成の演習
 - 分野を超えた造形演習や語学演習
 - 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究及び発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン・工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身に付けたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人。
3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身に付け、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身に付けたい人。
4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身に付けたい人。

(I) 平和学研究科

人材育成の目標

国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデア

と手法を世界に発信している、次のような資質を持つ人材を養成します。

1. 国際関係の仕組み及び政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
2. 平和創造及び平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、及び公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
3. 今日の国際紛争やグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリスト及びマスメディア専門家

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

平和学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力等を身に付けた上で、修士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（平和学）の学位を授与します。

1. 核戦争の脅威に対する十分な認識と戦争の予防と人間の安全保障に関する十分な学識
2. 人間の安全保障問題及び国際紛争原因を専門的かつ総合的に分析する能力と平和創造及び平和維持に関し発信する能力
3. 修士論文のテーマ設定に基づき、必要な資料の分析と論旨の整理を行い、明快な論文を作成する能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

平和学研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際邦楽、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、専門的かつ総合的な分析能力をもって、平和創造及び平和維持の阻害要因を鋭く追究できるジャーナリストや平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる研究者、またそれらの知見を行政に生かせる公務員などのプロフェッショナルな人材の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目（広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。）は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成します。

2. 研究科開設科目

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、及びこれまで人類が開発してきた平和創造の手法を修得することを目指すものです。また、

研究者をはじめとして、ジャーナリストや公務員など平和創造や平和維持に関するプロフェッショナルな人材を養成する上で、社会科学の分析手法の修得はいうに及ばず、平和創造の理論を修得し、その土台の上で研究、発信することが必須です。また理論研究を進める上で地域研究の学修は不可欠です。

これらのことを踏まえ、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」及び「グローバル／リージョナル・ガバナンス」の3つの科目群で構成し、それぞれの科目群をさらに小さな科目群に区分します。

(1) 第一群「研究基礎科目」

社会科学の基本的アプローチ（接近法）を修得することを目指す「分析・接近法」と広島への原爆投下の歴史と政治的背景など核戦争の脅威と悲惨さについて修得することを目指す「広島と核」という2つの小科目群を置きます。

(2) 第二群「平和の理論」

第一次世界大戦後に開発されてきた平和創造に関する理論の修得を目指します。

平和の実現のために人類が開発してきたさまざまな戦争予防策と平和創造の手法を修得することを目指す「平和と軍縮」と第二次世界大戦後に開発されたさまざまな平和創造の方法論を修得することを目指す「平和の創造」という2つの小科目群を置きます。いずれも平和創造を見る眼、あるいは平和構築の諸問題を分析する眼を養うことを目的とします。

(3) 第三群「グローバル／リージョナル・ガバナンス」

第三群の目的は、特にアジアでは、国際社会の組織化と規範構築に果たす国際機構の役割が相対的に弱いことが、平和創造においてどのような意味を持つかを問うことにあります。

アジア、中でも東アジア地域研究、及び平和創造において実践の担い手になっている国際機構の役割について分析する眼を養うために、今日のアジア諸国の政治・外交が直面する危機と課題について考察する「地域と平和」と普遍的国際機構及び地域機構の役割について理解を深める「国際機構と平和」という2つの小科目群を置きます。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平和学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- 国際紛争やグローバル問題などのさまざまな事象に関して、その背景や要因を追求し、客観的かつ科学的に分析できる人
- 職業経験を有する社会人においては、平和、人権、及び民主主義に強い関心を持ち、平和創造及び平和維持に関する自らの知識や経験を学問的にとらえ直し深めた上で、さらに強く発信したい、今後の仕事に生かしたいという意欲と熱意を有している人
- 平和を創造し維持するためにどのような制度と規範が必要かを自ら考え、研究し、考案したアイデアを国内外に向けて平和創造の視点から発信したいという意欲と熱意を有している人

(2) 特色ある講義科目 (2020 年度)

科目名	学部等	概要																		
ひろしま論 【不開講】	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県の歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、「国際平和文化都市」広島県の原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。 																		
平和と人権A (ヒロシマと国際平和)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と人権のうち、本講義では「平和」に焦点を当て、ヒロシマについて様々な分野の専門家が掘り下げ分析する。 ・ 広島県の被爆体験も歴史上でみれば、数多くの悲惨な体験の一つである。その内容を専門性に基づき客観的に分析することで、初めて学ぶ事は多い。客観的な分析は、他の悲惨な体験と痛みの共有をもたらし、国際平和に近づける。 																		
広島からの平和学：実践の方法	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島で平和をめざす多様な取り組みについて、キャンパスの外で当事者から学び、実践する能力を養う。 ・ 土曜の午後、平和文化センターが平和記念資料館で開催する市民講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、社会人と共に学ぶことで、社会性を養う。 ・ 被爆証言を聞いて被爆の実相や核兵器の非人道性を学ぶとともに、いま海外で起きている紛争や虐殺の当事者を講師に招き、平和を創ることの難しさと重要さを学ぶ。 																		
平和インターンシップ	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ・ 本インターンシップは、キャンパス外で平和を学ぶ試みとして 2008 年度から 2011 年度まで単位なしの課外活動として実施した後、内容をより充実させ、2012 年度から単位科目化した。 																		
HIROSHIMA and PEACE 【不開講】	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、さまざまな観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応募者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名</td> <td>国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名</td> <td>国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名</td> <td>国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名</td> <td>国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名</td> <td>国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	応募者	参加者	2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名	2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名	2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名	2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名	2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名	国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名
年度	応募者	参加者																		
2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名																		
2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名																		
2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名																		
2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名																		
2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名	国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名																		

広島・長崎講座

科 目 名		学部等	概 要
広島・長崎講座	国際化時代の平和	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島の被爆体験をはじめ、世界が経験した多様な悲惨な体験とその記憶の継承、現在の社会への影響について学ぶことにより、悲惨な体験と記憶の継承が、平和の喪失から平和の創造へと転じる上で果す役割について考える。
情報と企業 (産学連携による遠隔講座)		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT (情報通信技術) を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることが目的とする。 ・ (財) 経済広報センターによる教育支援活動の一環として慶応義塾大学に開設された寄付講座を、実時間遠隔講義環境を利用して、慶応義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点を接続し、広島市立大学から参加できるようにしている。 ・ 実時間遠隔講義環境を通して、講義中の質疑応答等双方向の対話が可能であり、講師及び他の大学の様子等が表示され、また、本大学の様子も他の拠点に表示される。
創作と人間		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことが目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間性の陶冶について考察する。
広島の観光学		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市を中心とする圏域が有する自然、歴史、文化、食等の地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫、観光による地域づくりについて理解を深める。 ・ 人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組み等の基礎知識を修得し、地域活性化における観光の意義と役割について学ぶ。
3学部合同基礎演習		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学部合同授業の中で多様な価値観に触れると同時に、プレゼンテーションを通して他人に伝えるスキルを身につける。 ・ 具体的には、「知のトライアスロン事業」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身につけると同時に、レポート作成やディスカッション、プレゼンテーションにより自己表現能力を養う。 ・ 少人数のゼミ形式の授業を体験することで、教員と学生相互のコミュニケーションを図り、学部を越えた学習集団の形成に役立てる。

科 目 名	学部等	概 要
CALL 英語集中 (eラーニングによる 集中英語学習プログラム)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> • eラーニングによる集中英語学習プログラムを利用し、リーディング、リスニング、文法、語彙を集中的に学習する。 • 履修者は、指定された期間中、自分の都合のよい時間にコンピュータ・ネットワークを通じて配信される教材をコンピュータの指示に従って自分のペースで学習していく。 • このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日1時間程度の学習が必要となる。 • プログラムの受講前と受講後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 • 情報科学部においては、「eラーニング英語」として学修時間を指定して実施している。

(3) 外部資金の獲得状況 (2015年度～2019年度)

(7) 科学研究費助成事業 (交付決定額)

○2019年度内訳は、別表「2019年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

(2020年3月31日現在)

区 分	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
基盤研究(A)	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	5,700 千円	1 件	9,100 千円
基盤研究(B)	9 件	26,100 千円	8 件	31,700 千円	8 件	24,270 千円	6 件	19,300 千円	5 件	18,700 千円
基盤研究(C)	44 件	44,800 千円	39 件	40,460 千円	49 件	45,240 千円	45 件	45,900 千円	50 件	50,700 千円
挑戦的萌芽研究	7 件	7,700 千円	7 件	5,500 千円	5 件	3,900 千円	2 件	1,600 千円	- 件	- 千円
挑戦的研究(萌芽)	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	2,100 千円	- 件	- 千円
若手研究(A)	- 件	- 千円	2 件	18,600 千円	2 件	7,000 千円	2 件	7,000 千円	- 件	- 千円
若手研究(B)	8 件	5,700 千円	6 件	5,700 千円	8 件	6,300 千円	6 件	4,900 千円	3 件	2,900 千円
若手研究	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	3 件	2,300 千円	6 件	5,100 千円
新学術領域研究	1 件	10,000 千円	1 件	10,300 千円	1 件	6,300 千円	1 件	6,300 千円	- 件	- 千円
研究成果公開促進費	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	2,200 千円
研究活動スタート支援	1 件	1,000 千円	- 件	- 千円	1 件	1,100 千円	2 件	1,500 千円	3 件	2,500 千円
合 計	70 件	95,300 千円	63 件	112,260 千円	74 件	94,110 千円	69 件	96,600 千円	69 件	91,200 千円
【参考】間接経費	28,590 千円		33,678 千円		27,882 千円		29,340 千円		26,160 千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。

※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

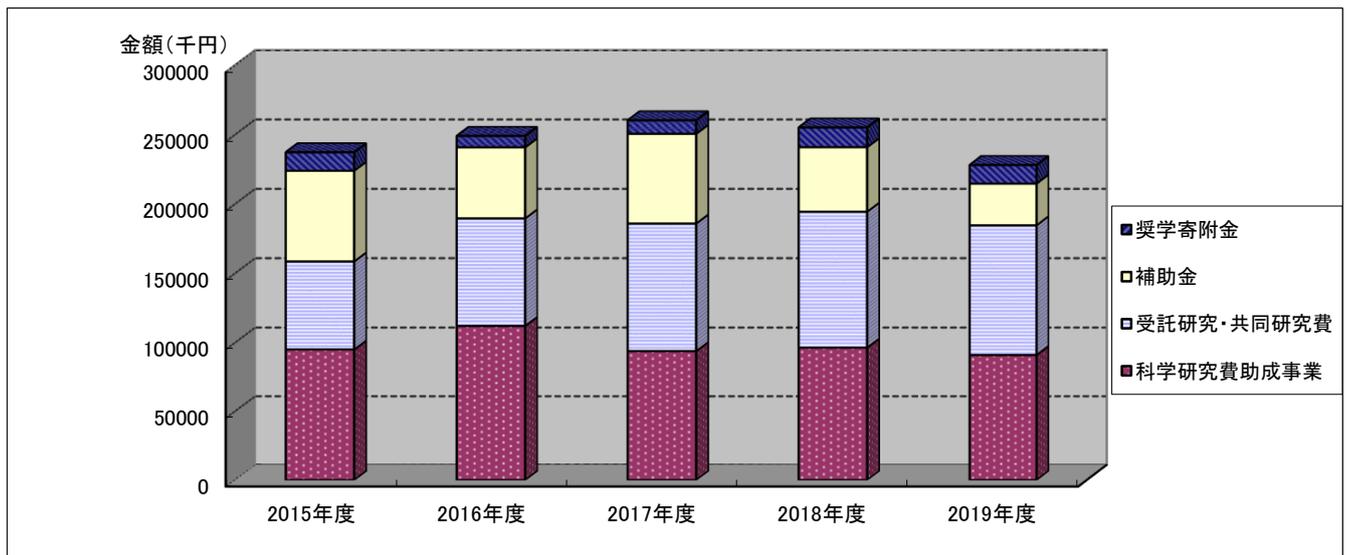
(イ) その他外部資金獲得状況

(2020年3月31日現在)

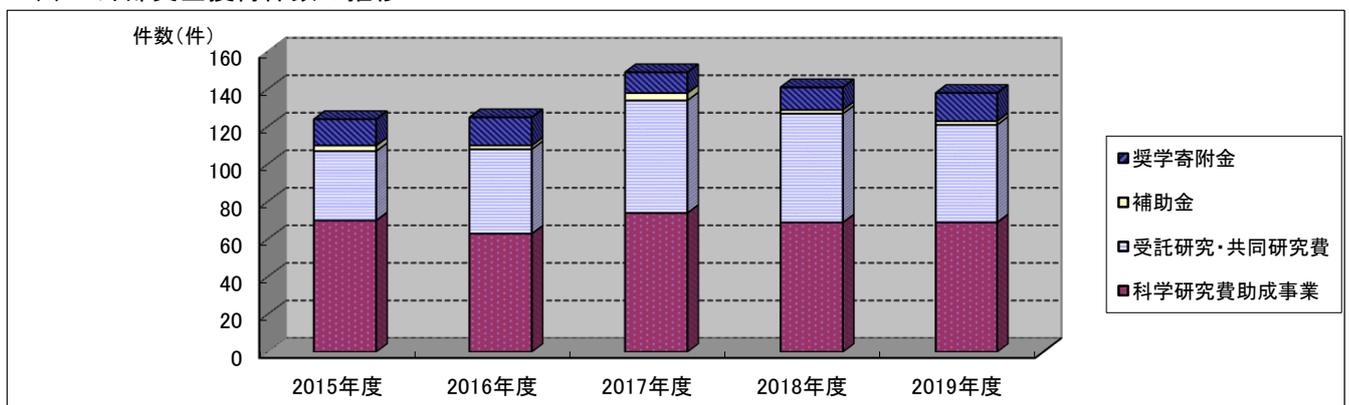
区 分	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
受託研究・共同研究費	37 件	63,457 千円	45 件	77,567 千円	60 件	91,982 千円	58 件	98,034 千円	52 件	93,636 千円
補助金	3 件	65,420 千円	2 件	51,238 千円	4 件	64,707 千円	2 件	46,526 千円	2 件	30,057 千円
奨学寄附金	14 件	13,279 千円	15 件	8,182 千円	11 件	9,694 千円	12 件	14,184 千円	15 件	13,347 千円
合 計	54 件	142,156 千円	62 件	136,987 千円	75 件	166,383 千円	72 件	158,744 千円	69 件	137,040 千円

※補助金は交付決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金(2019年度) ※交付決定額は直接経費のみ

① 基盤研究(A) 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 准教授 古川 亮	パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	9,100

② 基盤研究(B) 4件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 青木 信之	共通教育期間を通じた英語力向上のための多様な大学環境でのeラーニングマネジメント	2,900
国際学部 准教授 吉江 貴文	近代ヒスパニック世界における文書ネットワークの成立・展開・変容(衰退)過程の究明	4,300
情報科学研究科 講師 脇田 航	低コストかつ高没入なロコモーションプラットフォーム基盤技術の構築	6,100
情報科学研究科 准教授 満上 育久	注視を介した心の理解とコントロール	2,700

③ 基盤研究(C) 49件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 大庭 千恵子	EU加盟候補国における「国民国家」変容—旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国	700
国際学部 教授 関村 誠	プロティノスのアイステーシス論における像と痕跡の機能	700
国際学部 教授 高橋 広雅	消費増税が消費行動に与える影響に関する研究:行動経済学と経済実験によるアプローチ	1,300
国際学部 教授 田川 玄	エチオピアの無形文化遺産をめぐる文化の政治学	900
国際学部 教授 寺田 英子	ASEAN時代のロジスティクス構築戦略に関する研究	900
国際学部 教授 李 在鎬	自動車産業における中間財メーカー視点の成長戦略のパターン—独立系企業を中心に—	700
国際学部 准教授 卜部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度改革に伴うドイツ教育評価制度の再編と機能変容	600
国際学部 准教授 大場 静枝	フランス・ブルターニュ地方における近現代の文芸運動とナショナリズム	600
国際学部 准教授 城多 努	芸術文化団体の経営力向上を目指した会計情報活用に関する研究	1,100
国際学部 准教授 倉科 一希	米・西独間における核兵器共有問題の沈静化と国際認識の乖離	1,200
国際学部 准教授 田浪 亜央江	現代パレスチナ文化の観点による平和構築論の再検討 パフォーミング・アートを中心に	500
国際学部 准教授 古澤 嘉朗	平和構築の力学と国家に関する研究:サブサハラ・アフリカの事例に着目して	1,200
国際学部 准教授 マイケル・ゴーマン	Rural Texts, Global Contexts: Willa Cather's Cosmopolitan Imagination	800
国際学部 名誉教授 赤星 晋作	アメリカにおける「教職専門職基準」の策定とそのインパクトに関する研究	700
国際学部 名誉教授 ユリア・ミハイロバ	教科書の政治学:ロシアの歴史及び日本語教科書の一考察	1,000
情報科学研究科 教授 石田 賢治	新たな離散構造を用いたアシュアランスネットワーク制御技術	1,900
情報科学研究科 教授 岩城 敏	生活環境内日用品をワンドラッグで把持可能な介護支援ロボット操作用インタフェース	300
情報科学研究科 教授 角田 良明	アシュアランスネットワーク一般設計方法論に基づいたMANETシステムの強化	1,300
情報科学研究科 教授 鷹野 優	蛋白質構造形成に関する高次構造依存性の解明および新規分子力場の開発	1,700
情報科学研究科 教授 高濱 徹行	高次元多峰性問題における山谷構造と分布タイプ推定を利用した効率的な集団的最適化	500
情報科学研究科 教授 永山 忍	次世代車載ネットワークへの不正侵入を高速に検知する自己学習型システムの開発	800
情報科学研究科 教授 西 正博	920MHz帯無線リンクを用いた土砂災害前兆モニタリングネットワークの研究	1,300

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 弘中 哲夫	深層学習を用いた配置配線手法の研究	500
情報科学研究科 教授 藤坂 尚登	量子ドット結合系の非線形確率常微分方程式による記述と大容量THz無線通信の検討	900
情報科学研究科 教授 前田 香織	通信品質を考慮するサイバー攻撃防御システムに関する研究	1,200
情報科学研究科 教授 松原 行宏	力覚提示および擬似力覚提示機能を持つ学習支援システムの開発と比較研究	1,400
情報科学研究科 教授 若林 真一	ストリームデータに対する匿名化処理の情報損失低減と高速化に関する研究	800
情報科学研究科 教授 李 仕剛	注視情報から意図を推定する「人馬一体」型の車いすロボットの開発	800
情報科学研究科 准教授 市原 英行	ストカスティックコンピューティング回路のための高位合成手法に関する研究	800
情報科学研究科 准教授 井上 博之	車載システムの動的フィルタリング機構およびファジィングテスト手法の実用化	1,100
情報科学研究科 准教授 内田 智之	大規模グラフ構造圧縮データに対する並列グラフマイニングシステムの開発	1,100
情報科学研究科 准教授 小野 貴彦	IoT技術の活用による救急車の制振性の向上に関する研究	1,300
情報科学研究科 准教授 梶山 朋子	潜在顧客の感情の推移を考慮した商品推薦提示手法	1,100
情報科学研究科 准教授 河野 英太郎	端末密集環境で利用可能なBluetoothMANET構成法と高速データ転送手法	700
情報科学研究科 准教授 小畑 博靖	現象数理学に基づく無線LAN通信品質のモデル化技術	1,100
情報科学研究科 准教授 齋藤 夏雄	正標数の代数的閉体上で定義されたファノ多様体についての研究	800
情報科学研究科 准教授 双紙 正和	モバイルアドホックネットワークにおける移動体の経路認証と管理	1,300
情報科学研究科 准教授 高野 知佐	大規模社会ネットワーク分析におけるリンクの疎構造を利用した多項式時間解法の開発	1,200
情報科学研究科 准教授 高橋 賢	ISDB-Tテレビ放送電波にて伝達される緊急自動起動信号の低消費電力待機受信方法	1,100
情報科学研究科 准教授 田村 慶一	実世界情報分析のための時空間データマイニングに関する研究	1,400
情報科学研究科 講師 川端 英之	高速な任意制度数値計算のための実数計算ライブラリの実現方式に関する研究	900
情報科学研究科 講師 神尾 武司	強化学習ベース多船航路探索法における行動表現の高度化	1,200
情報科学研究科 講師 谷口 和弘	咬合に伴う外耳道の形状変化に基づく次世代イヤホン型咬合力計測装置	1,700
情報科学研究科 講師 長谷川 義大	末梢気道での呼吸計測を可能にする局所的肺機能計測システム技術の開発	1,100
情報科学研究科 講師 馬場 雅志	光の散乱・吸収を考慮した海中動画の色補正と物体形状復元	1,900
情報科学研究科 助教 岩垣 剛	確率的演算に基づく非同同期回路の設計と高信頼化に関する研究	1,300
情報科学研究科 助教 川本 佳代	キットビルド方式に基づく学習支援システムによる論理的思考力の育成	700
情報科学研究科 助教 鈴木 祐介	多様な付加情報を活用したグラフ構造データに対する高性能グラフマイニング手法の開発	1,000
平和研究所 教授 直野 章子	集合的記憶論とトラウマ記憶論の接合可能性の探求ー記憶研究の学際的展開に向けて	900

⑦ 若手研究(B) 3件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 山根 史博	原発災害の不確実性に対する人々の不安(厚生損失)形成メカニズムの実証的解明	1,400
国際学部 講師 目黒 紀夫	伝統をめぐるマサイの「ポジョニングス」の多様性と可能性	900
情報科学研究科 講師 岡山 友昭	Sinc法の再定式化と応用拡大	600

⑧ 若手研究 6件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 高久 賢也	新興国における国際資本フローと資本規制の有効性に関する理論的研究	500
国際学部 講師 斎藤 祥平	亡命ロシア人とユーラシア主義:「マイノリティ」と広域思想の関係の解明	800
国際学部 講師 原 雅樹	トマス・ハーディの小説における賭博表象の倫理的な意義に関する研究	800
情報科学研究科 助教 石川 直樹	高速周波数ホッピングのテンソル遅延検波による低干渉な無線秘匿通信	1,200
情報科学研究科 助教 高橋 雄三	仮現運動による視知覚空間の歪みを是正するインタフェース・デザインに関する研究	800
平和研究所 准教授 河 昞珍	戦後PRの歴史の変容に関する研究:言説と表象の比較的分析を通じて	1,000

⑩ 研究活動スタート支援 3件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 講師 武田 悠	G7サミットにおけるハイジャック対策:1970年代の「経済大国」日本と国際政治	300
国際学部 講師 リュウ テイ	An Empirical Investigation of Bridge Individuals and Bridging Roles in Multinational Companies	1,100
情報科学研究科 助教 小林 真	干渉除去技術を用いた高信頼低遅延無線ネットワーク構築に関する研究	1,100

66 件 85,600 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

挑戦的萌芽研究:独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究

挑戦的研究:斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究

若手研究(A,B):39歳以下の研究者が1人で行う研究

若手研究:博士の学位取得後8年未満の研究者が1人で行う研究

新学術領域研究:我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域

研究活動スタート支援:我が国の研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰した研究者等が行う研究

⑪ 2019年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定件数順

（金額単位：千円）

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
1	大阪市立大学	500	871,500	261,450	1,132,950
2	名古屋市立大学	487	735,500	220,650	956,150
3	首都大学東京	407	763,500	229,050	992,550
4	横浜市立大学	387	730,000	219,000	949,000
5	大阪府立大学	365	933,300	279,990	1,213,290
6	京都府立医科大学	330	498,800	149,640	648,440
7	福島県立医科大学	262	334,600	100,380	434,980
8	札幌医科大学	245	312,800	93,840	406,640
9	兵庫県立大学	243	513,100	153,930	667,030
10	奈良県立医科大学	224	302,500	90,750	393,250
11	和歌山県立医科大学	198	239,800	71,940	311,740
12	静岡県立大学	153	249,900	74,970	324,870
13	滋賀県立大学	98	120,000	36,000	156,000
14	秋田県立大学	94	130,700	39,210	169,910
15	県立広島大学	94	91,400	27,420	118,820
16	愛知県立大学	90	82,900	24,870	107,770
17	京都府立大学	85	149,200	44,760	193,960
18	高知工科大学	76	143,800	43,140	186,940
19	九州歯科大学	75	93,500	28,050	121,550
20	富山県立大学	74	137,400	41,220	178,620
21	広島市立大学	72	92,600	27,780	120,380
22	北九州市立大学	66	95,266	28,580	123,845
23	埼玉県立大学	60	55,700	16,710	72,410
24	高知県立大学	58	69,000	20,700	89,700
25	岡山県立大学	58	58,200	17,460	75,660
26	宮城大学	48	80,900	24,270	105,170
27	岩手県立大学	46	39,100	11,730	50,830
28	岐阜薬科大学	41	75,700	22,710	98,410
29	福井県立大学	41	55,000	16,500	71,500
30	神戸市外国語大学	40	41,500	12,450	53,950
31	福岡県立大学	38	31,400	9,420	40,820
32	熊本県立大学	37	45,800	13,740	59,540
33	島根県立大学	35	25,500	7,650	33,150
34	長崎県立大学	34	36,300	10,890	47,190
35	茨城県立医療大学	34	33,800	10,140	43,940
36	札幌市立大学	32	34,200	10,260	44,460
37	神奈川県立保健福祉大学	31	31,700	9,510	41,210
38	神戸市看護大学	30	28,700	8,610	37,310
39	高崎経済大学	29	26,900	8,070	34,970
40	山梨県立大学	28	30,500	9,150	39,650
41	山口県立大学	28	23,700	7,110	30,810
42	石川県立大学	27	41,900	12,570	54,470
43	公立はこだて未来大学	27	41,700	12,510	54,210
44	会津大学	27	28,400	8,520	36,920
45	石川県立看護大学	27	28,100	8,430	36,530
46	山陽小野田市立山口東京理	27	25,500	7,650	33,150
47	都留文科大学	26	24,000	7,200	31,200
48	京都市立芸術大学	24	25,000	7,500	32,500
49	福岡女子大学	24	22,800	6,840	29,640
50	千葉県立保健医療大学	24	20,000	6,000	26,000
51	大分県立看護科学大学	23	22,700	6,810	29,510
52	名桜大学	22	18,700	5,610	24,310
53	新潟県立大学	21	26,500	7,950	34,450

○交付決定件数順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	新潟県立看護大学	21	19,700	5,910	25,610
55	群馬県立県民健康科学大学	21	19,200	5,760	24,960
56	三重県立看護大学	21	17,500	5,250	22,750
57	公立小松大学	20	25,700	7,710	33,410
58	福山市立大学	20	19,800	5,940	25,740
59	静岡文化芸術大学	20	17,800	5,340	23,140
60	長野県看護大学	19	22,700	6,810	29,510
61	青森県立保健大学	17	18,500	5,550	24,050
62	沖縄県立看護大学	17	17,000	5,100	22,100
63	前橋工科大学	15	15,400	4,620	20,020
64	愛媛県立医療技術大学	15	13,000	3,900	16,900
65	名寄市立大学	15	12,600	3,780	16,380
66	香川県立保健医療大学	13	9,100	2,730	11,830
67	群馬県立女子大学	13	8,800	2,640	11,440
68	公立鳥取環境大学	12	11,300	3,390	14,690
69	国際教養大学	12	9,300	2,790	12,090
70	下関市立大学	12	8,600	2,580	11,180
71	公立諏訪東京理科大学	11	13,600	4,080	17,680
72	宮崎県立看護大学	11	9,000	2,700	11,700
73	岐阜県立看護大学	11	8,200	2,460	10,660
74	山形県立保健医療大学	11	6,800	2,040	8,840
75	産業技術大学院大学	10	10,400	3,120	13,520
76	沖縄県立芸術大学	10	7,600	2,280	9,880
77	尾道市立大学	10	7,300	2,190	9,490
78	釧路公立大学	10	6,500	1,950	8,450
79	愛知県立芸術大学	9	12,900	3,870	16,770
80	宮崎公立大学	9	5,500	1,650	7,150
81	秋田公立美術大学	8	6,400	1,920	8,320
82	長野大学	7	7,900	2,370	10,270
83	金沢美術工芸大学	7	5,900	1,770	7,670
84	新見公立大学	6	3,900	1,170	5,070
85	山形県立米沢栄養大学	5	5,800	1,740	7,540
86	青森公立大学	4	7,600	2,280	9,880
87	敦賀市立看護大学	4	6,600	1,980	8,580
88	情報科学芸術大学院大学	3	3,200	960	4,160
89	奈良県立大学	3	1,700	510	2,210
90	長岡造形大学	2	4,600	1,380	5,980
91	福知山公立大学	2	1,500	450	1,950

※2019年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《2019年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業（総務省）

【2018年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：干渉コーディネーションによる高信頼な医療・ヘルスケア BAN 構築
に向けた研究開発

(2018年度から2年間)

2019年度：8,434,351円

◆2019年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

(2015年度から5年間)

2019年度：20,232,000円

◆2019年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）

(2017年度から5年間)

2019年度：9,825,000円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

(2014年度から9年間)

2019年度：6,045,000円

《2018年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明

(2015年度から5年間)

2018年度：8,710,000円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

(2014年度から9年間)

2018年度：6,045,000円

◆2018年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017年度から5年間）

2018年度：8,152,000円

◆2018年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015年度から5年間）

2018年度：38,374,000円

《2017年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明
（2015年度から5年間）

2017年度：8,710,000円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
（2014年度から9年間）

2017年度：7,995,000円

◆2017年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017年度から5年間）

2017年度：10,578,000円

◆2017年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015年度から5年間）

2017年度：50,464,000円

《2016年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域ICT型研究開発]（総務省）

【2015年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣
研究課題 : 訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発
(2015年度から2年間)

2016年度 : 5,252,000円

◆2016年度大学間連携共同教育推進事業運営交付金(文部科学省)

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012年度から5年間)

2016年度 : 6,408,000円

◆2016年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業(広島県)

【2016年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
プログラム名 : ひろしま医工学ウィンタースクール

2016年度 : 4,440,000円

◆2016年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)(文部科学省)

【2015年度採択】

プログラム名 : 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業
(2015年度から5年間)

2016年度 : 46,798,000円

《2015年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域ICT型研究開発](総務省)

【2015年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣
研究課題 : 訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

2015年度 : 2,028,000円

◆2015年度大学間連携共同教育推進事業補助金(文部科学省)

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治
研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012年度から5年間)

2015年度 : 9,750,000円

◆2015年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業(広島県)

【2013年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和
プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013年度から3年間)

2015年度 : 4,207,000円

◆2015年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
（2015年度から5年間）

2015年度：52,513,000円

《2014年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域ICT型研究開発]（総務省）

【2013年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
（2013年度から2年間）

2014年度：9,243,000円

◆2014年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（2012年度から5年間）

2014年度：12,600,000円

◆2014年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
（2013年度から3年間）

2014年度：4,207,000円

《2013年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2013年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題：アシュアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用システムの研究開発

2013年度：4,596,800円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域ICT型研究開発]（総務省）

【2013年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
（2013年度から2年間）

2013年度：11,350,300円

◆2013年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治
研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012年度から5年間)

2013年度 : 14,000,000円

◆2013年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業(広島県)

【2013年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和
プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013年度から3年間)

2013年度 : 6,390,000円

《2012年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発](総務省)

【2010年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮
研究課題 : 4次元メディアシステムの研究開発
(2010年度から3年間)

2012年度 : 8,320,000円

◆2012年度大学間連携共同教育推進事業補助金(文部科学省)

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治
研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012年度から5年間)

2012年度 : 13,000,000円

《2011年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発](総務省)

【2010年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮
研究課題 : 4次元メディアシステムの研究開発
(2010年度から3年間)

2011年度 : 7,540,000円

◆2011年度大学改革推進等補助金(文部科学省)

【2011年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学
研究課題 : 医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

2011年度 : 23,000,000円

◆未来の科学者養成講座(独立行政法人 科学技術振興機構)

【2009年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学
委託業務名 : ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ!～

(2009 年度から 3 年間)

2011 年度 : 6,763,100 円

《2010 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発] (総務省)

【2009 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題 : 超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発

(2009 年度から 2 年間)

2010 年度 : 11,196,900 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発] (総務省)

【2008 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題 : 脳的感覺運動変換メカニズムの解明に関する研究開発

(2008 年度から 2 年間)

2010 年度 : 2,871,700 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICT イノベーション創出型研究開発] (総務省)

【2010 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題 : 4次元メディアシステムの研究開発

(2010 年度から 3 年間)

2010 年度 : 6,890,000 円

◆2010 年度大学改革推進等補助金 (文部科学省)

【2010 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題 : 医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

2010 年度 : 18,460,000 円

◆未来の科学者養成講座 (独立行政法人 科学技術振興機構)

【2009 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名 : ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ!～

(2009 年度から 3 年間)

2010 年度 : 7,074,100 円

(6) FD・SD活動実施状況(2019年度)

内 容	年月日	テーマ/講師
新任教職員FD・SD研修会 ①参加者数：31名 ②場所：大会議室	2019年4月4日 ～4月5日	理事長講話/若林真一理事長 大学紹介/石田賢治理事・渡辺智恵理事 事務局の概要/大田主査 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：13,601人 ②回答者数：10,159人 (回答率：74.7%)	2019年6月3日 ～9月29日	
メンタルヘルス講演会 ①参加者数：67人 ②場所：講堂小ホール	2019年7月30日	産業保健に携わる産業医の立場から/広島市企画総務局人事部医務監・広島市産業医 片山康医学博士
科研費・外部資金獲得セミナー ①参加者数：55名 ②場所：講堂小ホール	2019年7月30日	本学の外部資金の獲得状況および科研費獲得の支援制度について/石田賢治理事 科研費・外部資金獲得の方法とコツ/国際学部山根史博准教授 科研費申請書の準備で気をつけていること/情報科学研究科 高野知佐准教授 外部資金の獲得支援および知的財産に関する手続きについて/社会連携センター 竹澤寿幸センター長
職員倫理研修 ①参加人数：112名 ②場所：講堂小ホール	2019年10月8日～ 2019年10月11日	倫理研修 4日に分けて開催
サイバー犯罪の現状と対策 ①参加人数：42名 ②場所：講堂小ホール	2019年11月6日	広島県内におけるサイバー犯罪の現状と対策/ 広島県警察本部サイバー犯罪対策課サイバー犯罪対策係
危機管理研修会 ①参加者数：59名 ②場所：504講義室	2019年11月29日	豪雨災害と防災情報～災害から身を守るために～/広島市危機管理室災害予防課 河本課長
倫理コンプライアンスセミナー ①参加者数：98人 ②場所：講堂小ホール	2019年11月29日	(1) 業務の公益性等、公立大学法人職員の立場・地位、(2) 服務・倫理に関する規程、(3) ハラスメント、(4) 飲酒運転の防止、(5) 大学教員の不祥事等、(6) 不当要求行為等への対応/植永事務局次長
後期授業アンケート ①受講登録者数：15,299人 ②回答者数11,525人 (回答率：75.3%)	2019年11月23日～ 2020年2月28日	
COC+研修会 ①参加者数70名 ②場所：講堂小ホール	2020年1月10日	横浜市立大学におけるCOC事業の成果と地位貢献の取組・人材開発/横浜市立大学国際教養学部都市学系 鈴木伸治教授 (COC事業統括責任者)
「心と身体の相談センター」の設置と配慮を要する学生の支援について ①参加者数：55名 ②場所：講堂小ホール	2020年2月6日	「心と身体の相談センター」の設置と配慮を要する学生の支援について/保健管理室心理士 今江秀和准教授

3 入学試験

(1) 入学試験の概要

ア 学部（2021年度入試）

◇一般選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
前期日程	60	国際学部	総合問題	本学が指定する科目について大学入学共通テストの受験を課す。
	120	情報科学部	数学	
	45	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	15	国際学部	小論文	
	35	情報科学部	数学	
	17	芸術学部 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
合計	292	(内訳 国際学部 75 情報科学部 155 芸術学部 62)		

◇特別選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
総合型選抜	5	国際学部	1次選考（書類審査） 2次選考（小論文、面接）	
	5	情報科学部	1次選考（書類審査） 2次選考（総合問題、面接）	
	18	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 彫刻専攻	提出書類、 本選考（小論文、実技検査、面接）	
		芸術学部 デザイン工芸学科	提出書類、 本選考（小論文、課題作品、面接）	
学校推薦 型選抜	市内公募	10	国際学部	市内公募：入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者
	全国公募			
	市内公募	25	情報科学部	
	全国公募			
外国人留学生選抜	若干名	国際学部	小論文、面接	本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。
	若干名	情報科学部	数学、面接	
	若干名	芸術学部	実技検査、面接	
合計	98	(内訳 国際学部 25 情報科学部 55 芸術学部 18)		

イ 大学院（2021年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考
博士前期課程	15	国際学研究科	小論文、口述試験	2020年10月入学有り(募集人員:若干名) TOEIC®の受験を課す。
	47	情報科学研究科	外国語、数学、データ構造とアルゴリズム、面接 ※実施科目は全専攻で統一	
	30	芸術学研究科	外国語 作品提出又は論文 研究計画書 実技、プレゼンテーション又は筆記試験 口述試験 ※実施科目は志望研究領域によって異なる	
	10	平和学研究科	小論文、口述試験	2020年10月入学有り(募集人員:若干名)
博士後期課程	7	国際学研究科	口述試験	2020年10月入学有り(募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口述試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
	4	平和学研究科	詳細は後日公表する	2021年4月設置
合計	147	(内訳 博士前期課程 102 博士後期課程 45)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考	
博士前期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2020年10月入学有り(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
		若干名	平和学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
		若干名	情報科学研究科	書類選考、面接	
	海外在住者対象外国人留学生入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2020年10月入学のみ(募集人員:若干名)
	外国人留学生入試	若干名	平和学研究科	書類選考、面接	2020年10月入学有り(募集人員:若干名)
	推薦入試	若干名	国際学研究科	口述試験	
37		情報科学研究科	面接	2020年10月入学有り(募集人員:若干名) TOEIC®の受験を課す。	
博士後期課程	社会人入試	若干名	情報科学研究科	口述試験	2020年10月入学有り(募集人員:若干名)
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	2020年10月入学のみ(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	書類選考、面接	2020年10月入学のみ(募集人員:若干名)
合計	37+若干名 (内訳 博士前期課程 37+若干名 博士後期課程 若干名)				

(2) 入学試験実施状況（2020年度入試）

ア 学部1年次入学

・入学試験実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)	
国際学部	国際学科	人 100	人 519	人 328	人 122	人 115	倍 2.7	
情報科学部	情報工学科	210	889	569	253	230	2.2	
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	36	28	14	13	2.0
		油絵専攻	20	58	58	26	22	2.2
		彫刻専攻	10	23	19	14	10	1.4
	デザイン工芸学科	40	212	157	46	42	3.4	
	計	80	329	262	100	87	2.6	
合 計		390	1,737	1,159	475	432	2.4	

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 115	人 23	人 92	人 42	人 21	人 52	人 102	人 13
情報科学部	230	189	41	106	62	62	209	21
芸術学部	87	16	71	20	7	60	53	34
合 計 (構成比)	432	228 (52.8%)	204 (47.2%)	168 (38.9%)	90 (20.8%)	174 (40.3%)	364 (84.3%)	68 (15.7%)

イ 学部3年次編入学

・入学試験実施状況

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)
情報科学部	情報工学科	人 若干名	人 -	人 -	人 -	人 -	倍 -
	知能工学科	若干名	1	1	1	1	1.0
	システム工学科	若干名	-	-	-	-	-
	医用情報科学科	若干名	1	1	1	-	-
	合 計	若干名	2	2	2	1	1.0

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒他
情報科学部	人 1	人 1	人 -	人 -	人 -	人 1	人 1	人 -

(3) 年次別競争率等 (2011年度～2020年度入試)

ア 年次別競争率

(単位：倍)

区 分		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
国際学部	推薦入試	1.8	2.3	2.2	1.9	1.9	2.0	2.4	2.1	2.3	1.9
	一般入試 前期日程	3.5	1.9	3.3	2.3	3.0	2.1	3.3	3.3	2.0	2.3
	一般入試 後期日程	5.0	3.8	5.3	3.3	4.1	4.0	5.5	6.7	3.7	4.8
情報科学部	推薦入試	1.8	1.7	2.1	1.9	2.1	1.8	1.8	2.2	2.0	2.3
	一般入試 前期日程	2.1	3.4	3.4	2.4	3.1	2.5	1.8	2.0	2.4	1.9
	一般入試 後期日程	5.9	4.0	6.7	2.4	4.7	4.0	3.1	3.0	3.6	3.4
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試		4.4	3.8	2.8	3.5	3.0	1.5	3.5	2.3	1.3
	一般入試	2.3	2.5	2.4	2.3	3.0	2.8	3.0	2.7	3.0	2.7

イ 特別入試入学者数

(単位：人)

区 分		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
国際学部	推薦入試	25	25	22	25	26	25	25	27	27	27
	外国人留学生 入試	3	6	5	7	1	4	9	8	7	4
情報科学部	推薦入試	50	45	49	47	46	44	44	47	46	46
	外国人留学生 入試	3	2	2	2	1	1	1	1	2	3
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試		5	4	4	4	4	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	推薦入試	75	70	71	72	72	69	69	74	73	73
	彫刻専攻 自己推薦入試		5	4	4	4	4	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	6	8	7	9	2	5	10	9	9	7

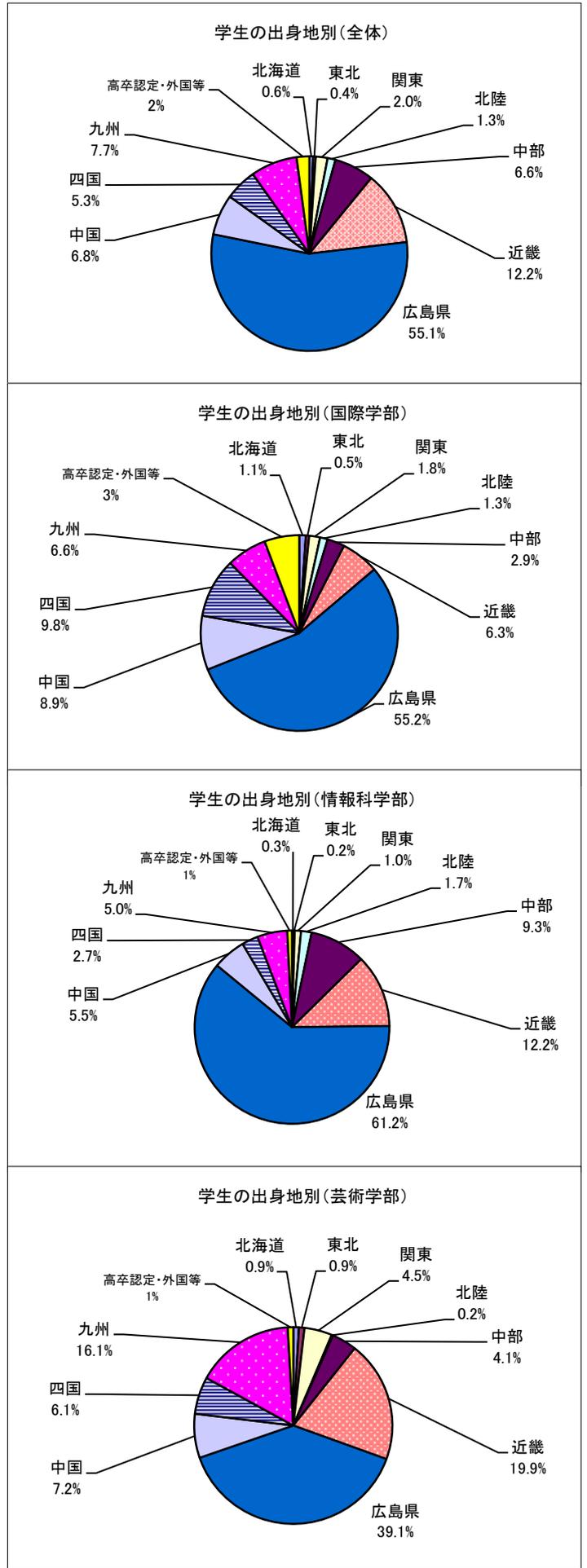
ウ 編入学者数

(単位：人)

区 分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
募集人員	若干名									
受験者数	12	6	1	2	4	1	1	3	1	2
入学者数	2	2	0	1	1	0	0	2	0	1

(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳（2016年度～2020年度 学部）

出身地域	人数	内訳			
		国際学部	情報科学部	芸術学部	
北海道地方	13	6	3	4	
東北地方	青森県	3	0	1	2
	岩手県	2	1	0	1
	宮城県	3	2	0	1
	秋田県	0	0	0	0
	山形県	1	0	1	0
	福島県	0	0	0	0
	小計	9	3	2	4
関東地方	茨城県	5	2	0	3
	栃木県	4	2	2	0
	群馬県	2	0	1	1
	埼玉県	3	1	0	2
	千葉県	3	1	2	0
	東京都	12	3	3	6
	神奈川県	13	1	4	8
小計	42	10	12	20	
北陸地方	新潟県	1	0	1	0
	富山県	4	0	4	0
	石川県	9	4	4	1
	福井県	14	3	11	0
小計	28	7	20	1	
中部地方	山梨県	5	0	5	0
	長野県	9	1	6	2
	岐阜県	18	2	13	3
	静岡県	42	3	32	7
	愛知県	67	10	51	6
小計	141	16	107	18	
近畿地方	三重県	24	2	14	8
	滋賀県	16	4	8	4
	京都府	52	5	25	22
	大阪府	67	9	30	28
	兵庫県	71	9	51	11
	奈良県	21	2	5	14
	和歌山県	12	4	7	1
小計	263	35	140	88	
中国地方	鳥取県	16	4	9	3
	島根県	34	13	18	3
	岡山県	51	23	16	12
	広島県	1,183	309	701	173
	山口県	44	10	20	14
小計	1,328	359	764	205	
四国地方	徳島県	14	8	4	2
	香川県	39	21	9	9
	愛媛県	47	19	16	12
	高知県	13	7	2	4
小計	113	55	31	27	
九州地方	福岡県	62	6	19	37
	佐賀県	10	2	4	4
	長崎県	18	8	4	6
	熊本県	22	6	8	8
	大分県	14	4	9	1
	宮崎県	10	3	3	4
	鹿児島県	23	4	9	10
沖縄県	6	4	1	1	
小計	165	37	57	71	
高卒認定・外国等	45	32	9	4	
合計	2,147	560	1,145	442	



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究科（2020年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

◆ 情報科学研究科（2020年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 平和学研究科（2020年度入試）

(1) 修士課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例：ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数 (2015～2019 年度)

単位：人

区 分		2015	2016	2017	2018	2019	
国際学研究科	博士前期課程	4月入学	0	3	2	0	1
		10月入学	2	0	0	1	0
	博士後期課程	4月入学	0	0	0	0	0
		10月入学	1	0	1	0	0
情報科学研究科	博士前期課程	4月入学	0	0	1	0	0
		10月入学	0	0	0	0	0
	博士後期課程	4月入学	0	0	2	1	0
		10月入学	0	0	0	0	0
平和学研究科	修士課程	4月入学	-	-	-	-	1
		10月入学	-	-	-	-	0

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《2019 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

学術活動

【情報科学部・情報科学研究科】

◆情報科学研究科（博士前期課程）1年 黒田明日香

「第217回情報処理学会コンピュータビジョンとイメージアップメディア研究会」において、「優秀賞」を受賞した。

また、「第18回情報科学技術フォーラム」において、「FIT奨励賞」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）2年 椛島康平

筆頭著者となった論文が、「Best paper award」に選ばれ、「The 14th International Conference on Innovative Computing, Information and Control (ICICIC2019)」で表彰された。

□情報科学部情報工学科4年 勝坂優希

□情報科学研究科（博士後期課程）2019年9月修了 西本匡志

「フレッシュ IT あわ〜ど 2019」の作品部門において、「優秀賞」を受賞した。

◆情報科学部情報工学科2年 河野雄也

「情報処理学会第119回プログラミング研究発表会」において発表した研究にて、「2019年度情報処理学会コンピュータサイエンス領域奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）1年 村上純一

□情報科学研究科（博士前期課程）1年 森本隆志

「International Workshop on Electronics, Information and Communication(IWEIC2019)」において、「Best Presentation Award」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）2年 成澤健太

◆情報科学研究科（博士前期課程）2年 山際納月

◆情報科学部システム工学科4年 土屋和也

□情報科学部情報工学科4年 山崎樹生

「第21回IEEE広島支部学生シンポジウム」において、「HISS優秀研究賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）2年 井原みのり

「第21回IEEE広島支部学生シンポジウム」において、「HISS最優秀プレゼンテーション賞」を受賞した。

□情報科学部情報工学科 4年 大澤佑哉

国際会議「2019 International Conference on Field-Programmable Technology」における「FPT '19 FPGA Design Competition」にて準優勝した。

□情報科学部システム工学科 4年 鈴木諒

「人類動態学会第44回西日本地方会」において「若手優秀発表賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）2年 濱田尚瞳

「2019年度電気・情報関連学会中国支部連合大会」において発表した論文にて「中国支部奨励賞」を受賞した。

【芸術学部・芸術学研究科】

◆芸術学研究科（博士前期課程）1年 吉村織那

「第5回石本正日本画大賞展」において、「準大賞 第二席」を受賞した。
また、「第38回上野の森美術館大賞展」で入選した。

◆芸術学部美術学科 4年 福光透也

「第5回石本正日本画大賞展」において、「石正美術館長賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）2年 松本千里

「2019 金沢・世界工芸コンペティション」で入選した。

◆芸術学研究科（博士後期課程）2年 番原耕一郎

「第19回アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション（AAC2019）」で優秀賞を受賞した。

□芸術学研究科（博士後期課程）1年 吉田奈保子

「第19回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展」にて入賞した。

□芸術学研究科（博士後期課程）3年 魏双斌

「ゲンビ『広島ブランド』デザイン公募2019」において、「ナカムラクニオ賞」「観客賞」を受賞した。

□芸術学研究科（博士前期課程）2年 松岡円香

広島赤十字・原爆病院と本学による選考委員会より「広島赤十字・原爆病院賞」を受賞した。

◆芸術学部デザイン工芸学科 4年 下村祐介

「第47回宮島特産品振興大会」において、「銅賞」を受賞した。

◆芸術学部デザイン工芸学科4年 門前佑奈

「第7回社会医療法人清風会芸術奨励作品展」において、「理事長特別賞」を受賞した。
また、「第47回宮島特産品振興大会」において、「銅賞」を受賞した。

社会活動

◆情報科学部システム工学科4年 世波里菜

◆国際学部国際学科4年 小田敦子

消防団事務局および各分団において、複数回出務した。活動の様子については、消防局消防団室を通じて高い評価が伝えられている。

2013年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、学生の消防団加入促進が求められている中、当該学生の活動は社会活動において優れた功績を挙げたと認められるとともに、本学に対する社会的評価の向上に資した。

◆情報科学部知能工学科2年（第26回広島市立大学大学祭実行委員会代表者）田中知希

第26回広島市立大学大学祭実行委員会は、2019年10月26日、27日に開催された本学大学祭において、イベント、模擬店、カフェ、展示、フリーマーケット等の様々な企画、準備、運営に尽力し、大学祭を大いに盛り上げ、成功に導いた。

地域のまつり（沼田町ふるさと祭り等）にボランティアとして参加し交流を深めたことにより、地域との信頼関係を築き上げている。

5 就職

(1) 就職・進学等

ア 学部別の状況(2019年度)

2020年3月31日現在

(ア) 学部生

(単位:名、%)

区 分		卒業者 (A+C+D)	就職希望者			進学者 (C)	進学・就職以外 (D)	前年度(2019年3月卒)					
			希望者 (A)	就職者 (B)	就職決定率 (B/A×100)			卒業者	就職希望者			進学者	進学・就職以外の者
									希望者	就職者	就職決定率		
国際学部	男	22	18	18	100.0	2	2	20	17	16	94.1	0	3
	女	100	89	86	96.6	2	9	75	67	67	100.0	1	7
	計	122	107	104	97.2	4	11	95	84	83	98.8	1	10
情報科学部	男	167	106	105	99.1	51	10	160	109	108	99.1	46	5
	女	39	33	33	100.0	6	0	42	34	34	100.0	7	1
	計	206	139	138	99.3	57	10	202	143	142	99.3	53	6
芸術学部	男	15	4	4	100.0	8	3	16	7	7	100.0	2	7
	女	65	32	31	96.9	16	17	58	30	28	93.3	17	11
	計	80	36	35	97.2	24	20	74	37	35	94.6	19	18
合 計	男	204	128	127	99.2	61	15	196	133	131	98.5	48	15
	女	204	154	150	97.4	24	26	175	131	129	98.5	25	19
	計	408	282	277	98.2	85	41	371	264	260	98.5	73	34

(イ) 大学院生(博士前期課程)

(単位:名、%)

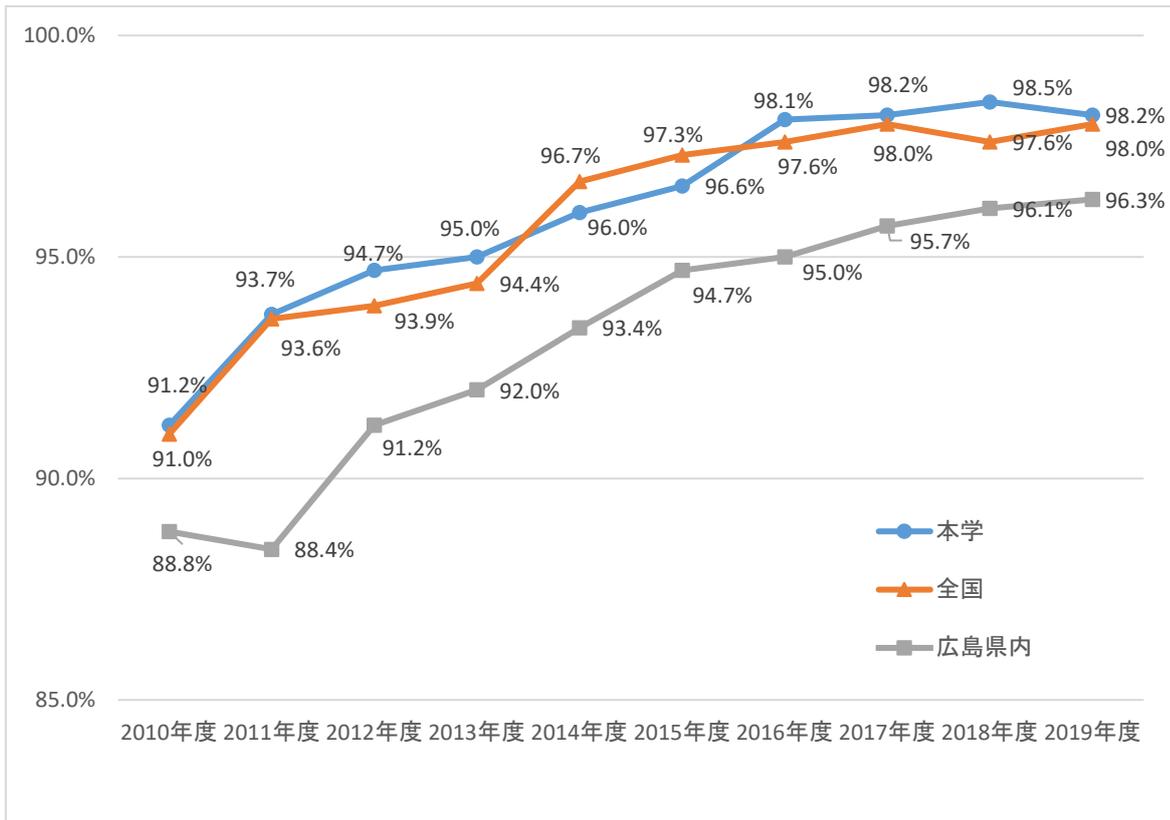
区 分		修了者 (A+C+D)	就職希望者			進学者 (C)	進学・就職以外 (D)	前年度(2019年3月卒)					
			希望者 (A)	就職者 (B)	就職決定率 (B/A×100)			修了者	就職希望者			進学者	進学・就職以外の者
									希望者	就職者	就職決定率		
国際学研究科	男	6	1	1	100.0	0	5	4	3	3	100.0	0	1
	女	2	0	0	-	0	2	6	2	2	100.0	0	4
	計	8	1	1	100.0	0	7	10	5	5	100.0	0	5
情報科学研究科	男	53	53	53	100.0	0	0	49	49	48	98.0	0	0
	女	9	8	8	100.0	1	0	5	5	5	100.0	0	0
	計	62	61	61	100.0	1	0	54	54	53	98.1	0	0
芸術学研究科	男	2	1	1	100.0	0	1	10	4	4	100.0	1	5
	女	16	6	5	83.3	2	8	12	6	6	100.0	4	2
	計	18	7	6	85.7	2	9	22	10	10	100.0	5	7
合 計	男	61	55	55	100.0	0	6	63	56	55	98.2	1	6
	女	27	14	13	92.9	3	10	23	13	13	100.0	4	6
	計	88	69	68	98.6	3	16	86	69	68	98.6	5	12

(参考)学部生の就職率比較【2020年3月31日現在】

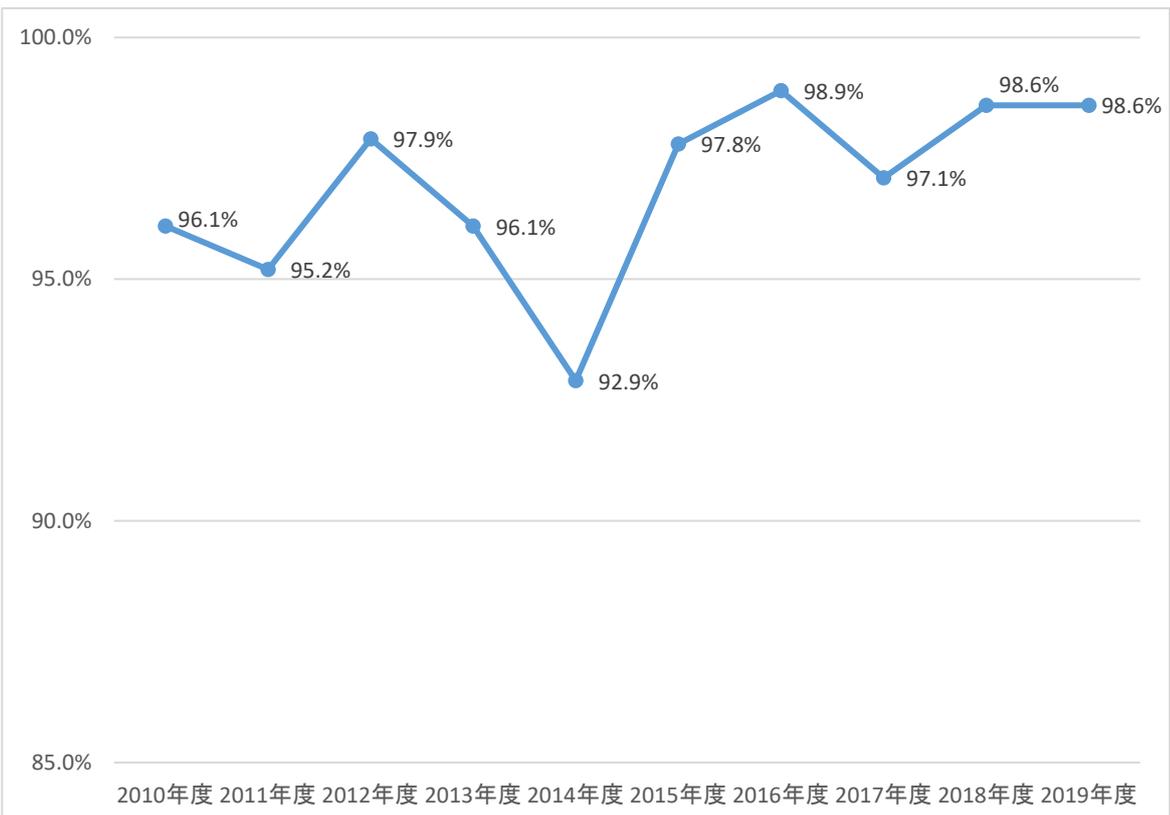
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	98.2%	
広 島 県	96.3%	広島労働局
全 国	98.0%	文部科学省・厚生労働省調査

イ 就職率の推移(2010年度～2019年度)

ア) 学部



イ) 大学院

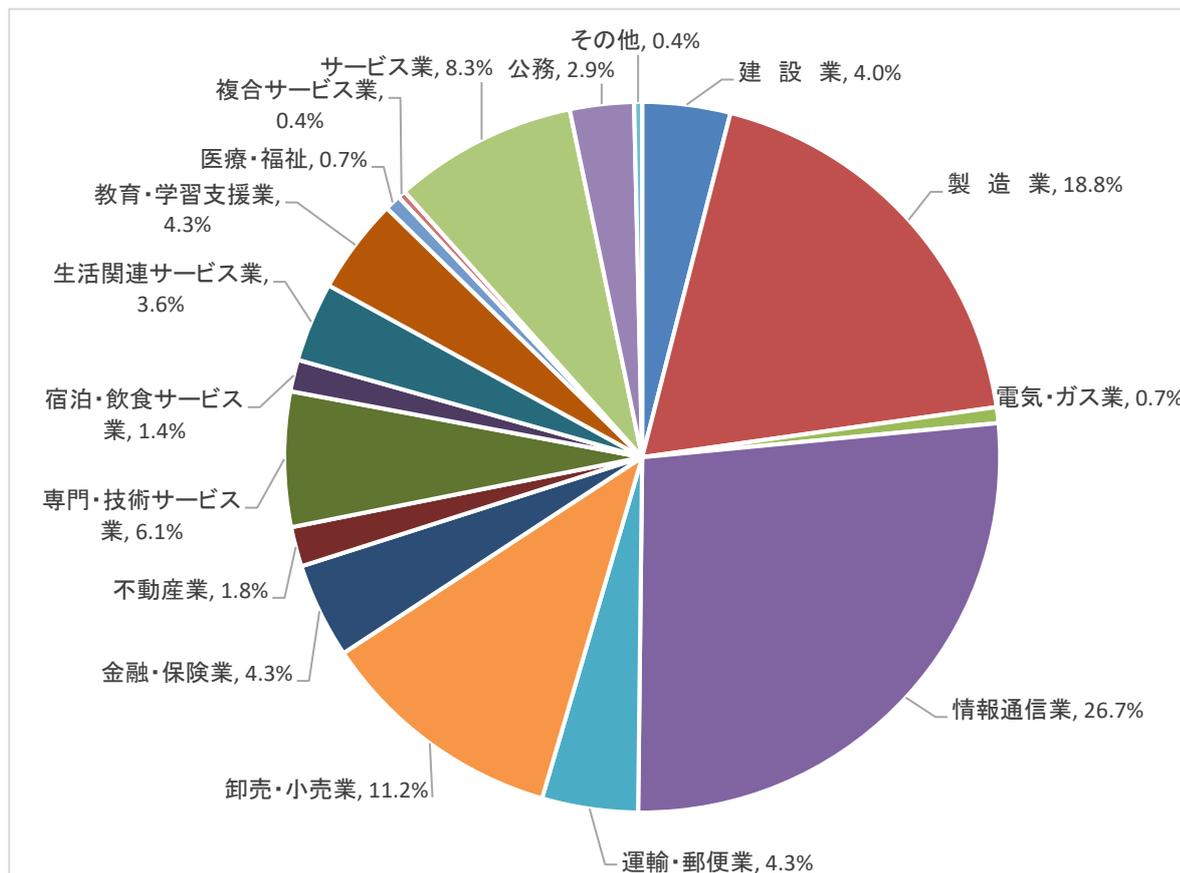


(2) 就職先の構成比

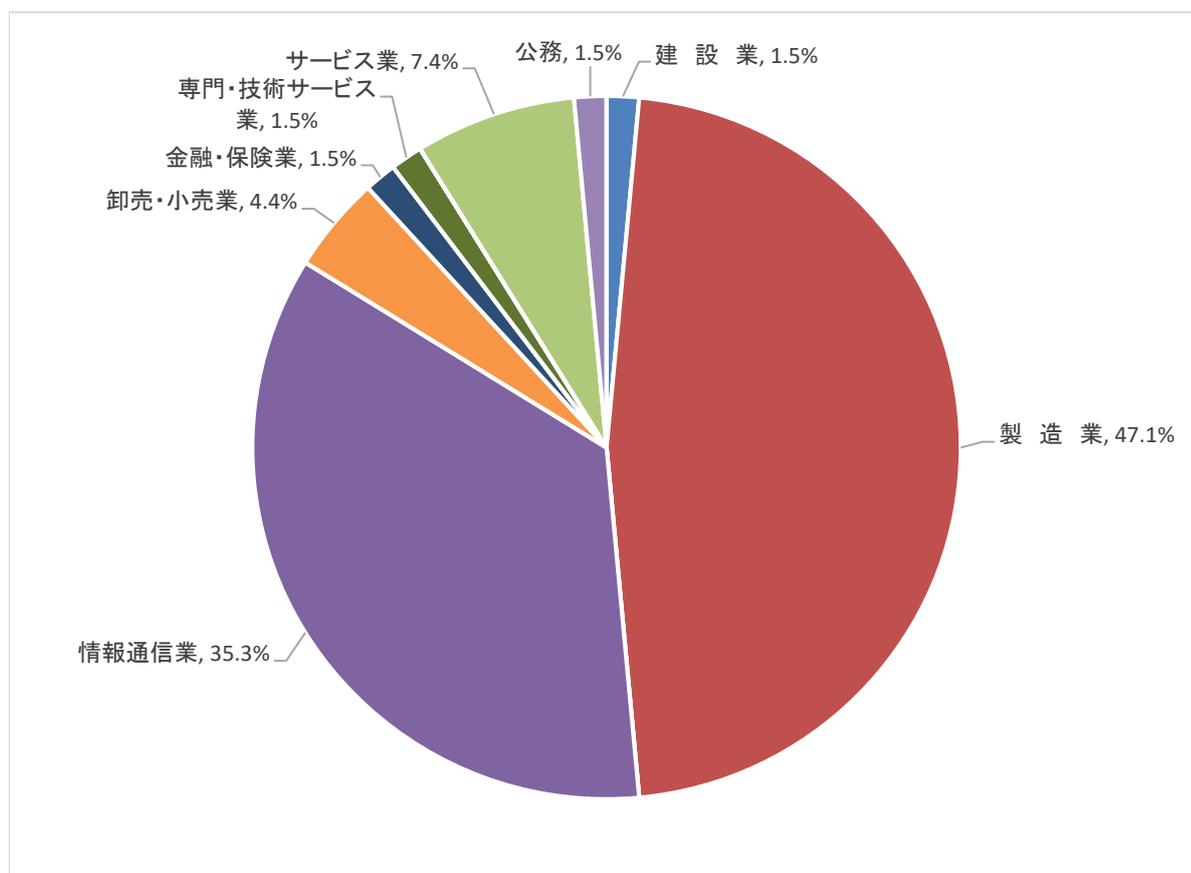
ア 業種別

(ア) 2019年度卒

a 学部(277名)



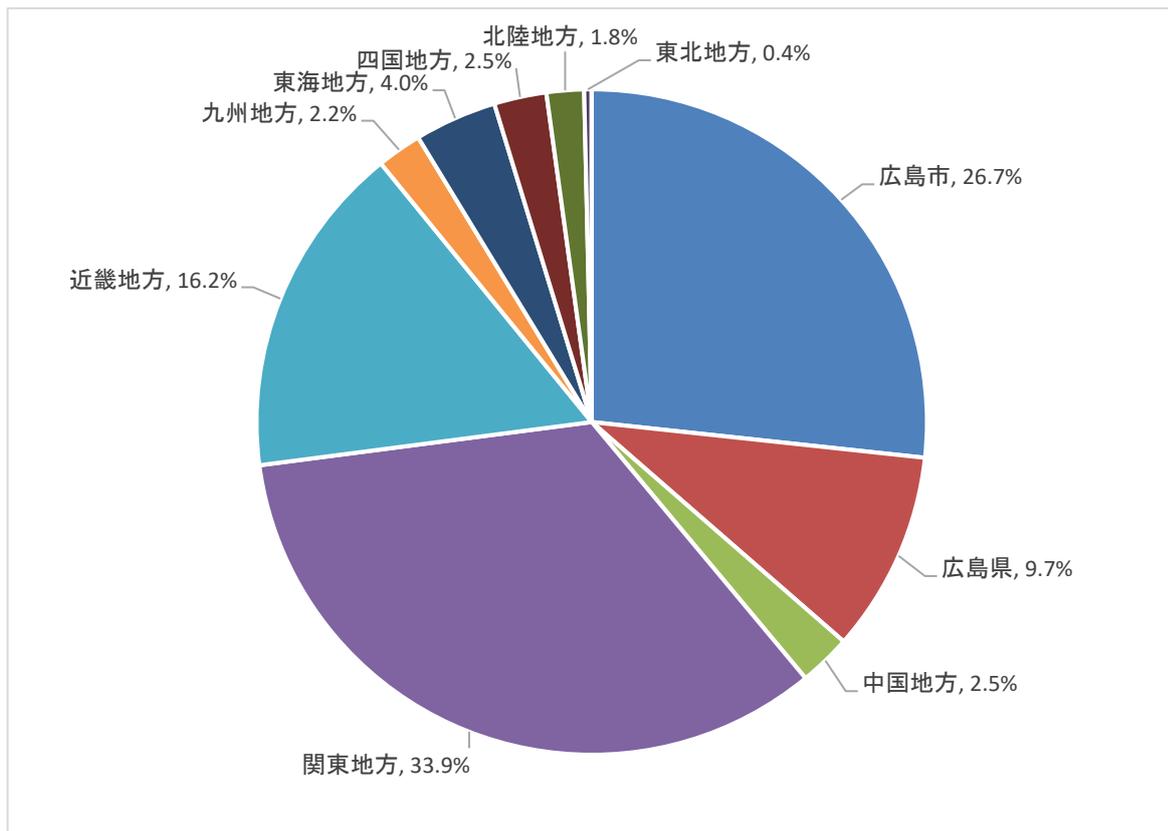
b 大学院(68名)



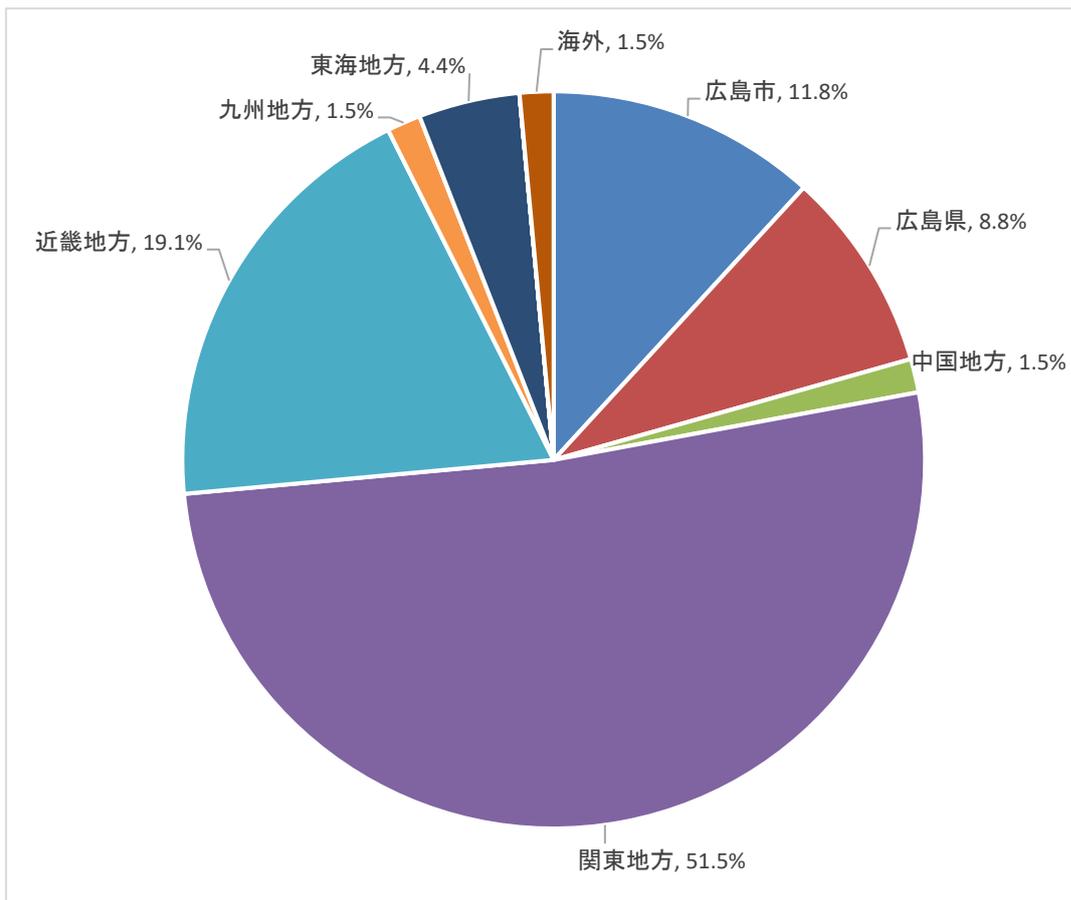
イ 地域別

(ア) 2019年度卒

a 学部(277名)



b 大学院(68名)



(3)就職先企業等一覧

ア 2019年度 国際学部及び国際学研究科(大学院)における就職先

2020.3.31現在

《広島県内地域》33社38名

- ・(株)イズミ(広島市)
- ・(株)鷗州コーポレーション(広島市)
- ・オタフクソース(株)(広島市)
- ・(株)合人社計画研究所(広島市)
- ・佐伯中央農業協同組合(広島県)
- ・三光電業(株)(広島市)
- ・山陽オイル(株)(広島市)
- ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市)2名
- ・ダイキョーニシカワ(株)(広島県)
- ・(株)中国四国博報堂(広島市)
- ・中国木材(株)(広島県)
- ・中国労働金庫(広島市)
- ・(株)テクノクラーツ(広島市)
- ・(株)ドコモCS中国(広島市)
- ・(株)鞆スコレ・コーポレーション(広島県)
- ・トモテツグループ(広島県)
- ・(株)ドリーム・アーツ(広島市)
- ・日本基準寝具(株)(広島市)
- ・広島ガス(株)(広島市)
- ・広島韓国教育院(広島市)
- ・広島県中小企業共済協同組合(県共済)(広島市)
- ・広島国際学院中学高等学校(広島県)
- ・広島市役所(広島市)2名
- ・広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校(広島市)
- ・広島市立学校教員 特別支援学校(広島市)
- ・広島信用金庫(広島市)2名
- ・富士ゼロックス広島(株)(広島市)
- ・(株)フランス屋(広島市)
- ・(株)古川製作所(広島県)2名
- ・マイライフ(株)(広島県)
- ・(株)やまみ(広島県)
- ・(株)ull(広島市)2名
- ・(有)ラ・セツテ(広島市)

《関東地域》31社33名

- ・(株)アーキ・ジャパン AJホールディングス(東京都)
- ・(株)イーオン(東京都)
- ・イオンリテール(株)(千葉県)2名
- ・伊藤忠アビエーション(株)(東京都)
- ・オルビス(株)(東京都)
- ・花王グループ カスタマーマーケティング(株)(東京都)
- ・合同会社 カンター・ジャパン(東京都)
- ・(株)串カツ田中ホールディングス(東京都)
- ・(株)グッドラック・コーポレーション(東京都)
- ・(株)クリーク・アンド・リバー社(東京都)
- ・(株)KDDIエボルバ(東京都)
- ・島村楽器(株)(東京都)
- ・(株)JALナビア(東京都)
- ・(株)シャン・クレール(東京都)
- ・ジュングループ(東京都)
- ・住宅金融支援機構(東京都)
- ・(株)人材総合サービス(東京都)
- ・(株)スポーツビズ(東京都)
- ・全日本空輸(株)(東京都)
- ・第一生命保険(株)(東京都)
- ・(株)中央コンピュータシステム(神奈川県)
- ・(株)ティーケーピー(東京都)
- ・(株)ナイモノ(東京都)
- ・日本航空(株)(東京都)
- ・日本郵便(株)(東京都)2名
- ・(株)長谷工エアベスト(東京都)
- ・パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン(株)(東京都)
- ・(株)フージャース・ホールディングス(東京都)
- ・明治安田生命保険(相)(東京都)
- ・(株)リクルート(東京都)
- ・(株)ワークス(東京都)

《近畿地域》16社16名

- ・アイオ(株)(兵庫県)
- ・(株)アドバンスクリエイト(大阪府)
- ・ANA関西空港(株)(大阪府)
- ・アピデ(株)(大阪府)
- ・エムケイ(株)(京都府)
- ・小林産業(株)(大阪府)
- ・(株)サカイ引越センター(大阪府)
- ・白ハト食品工業(株)(大阪府)
- ・住友生命保険(相)(大阪府)
- ・大和ハウス工業(株)(大阪府)
- ・デサントジャパン(株)(大阪府)
- ・中野製薬(株)(京都府)
- ・西日本旅客鉄道(株)(大阪府)
- ・Peach Aviation (株)(大阪府)
- ・(株)ヒラノテグシード(奈良県)
- ・Mother's Industry (株)(大阪府)

《その他地域》15社18名

- ・(株)アクシス(香川県)
- ・ANA福岡空港(株)(福岡県)
- ・(株)穴吹トラベル(香川県)
- ・(株)コメリ(新潟県)3名
- ・(株)四国銀行(高知県)
- ・四国情報管理センター(株)(高知県)
- ・島根県公立学校教員(中学英語)(島根県)
- ・住友電装(株)(三重県)
- ・大黒天物産(株)(岡山県)
- ・(株)タダノ(香川県)
- ・(株)西原商会(鹿児島県)
- ・フカヤ(株)(福岡県)
- ・(株)メガネトップ(静岡県)
- ・山口フィナンシャルグループ(山口県)2名
- ・(株)リプライス(愛知県)

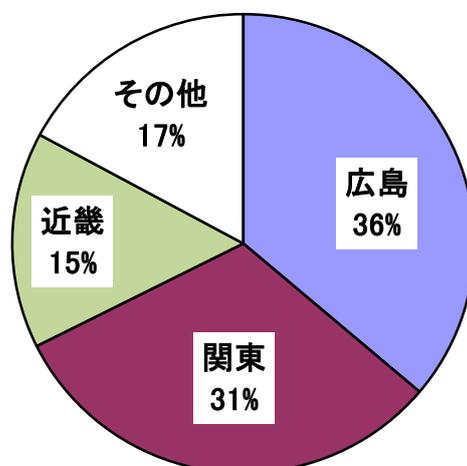
※地域区分について

【関東地域】

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
千葉県、東京都、神奈川県

【近畿地域】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
奈良県、和歌山県

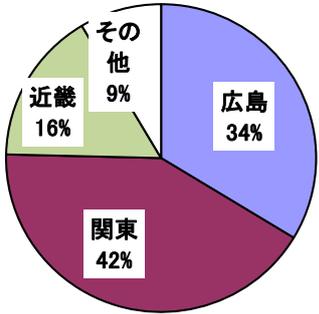


(注)本社所在地により地域別に整理

イ 2019年度 情報科学部及び情報科学研究科(大学院)における就職先

2020.3.31現在

《広島県内地域》45社67名	《関東地域》 67社83名	《近畿地域》22社32名
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)インタフェース(広島市) ・(株)ウッドワン(広島県) ・NSウエスト(株)(広島県)3名 ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)2名 ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)2名 ・(株)熊平製作所(広島市) ・(株)経営管理センター(広島市) ・(株)コトブキソリューション(広島県) ・(株)サタケ(広島県) ・佐竹電機(株)(広島市) ・(株)サンネット(広島市)2名 ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市) ・(株)新星工業社(広島市) ・ダイキョーニシカワ(株)(広島県) ・(株)ダイコーテクノ(広島市) ・(株)ダイセック(広島市)2名 ・中国電力(株)(広島市) ・中電技術コンサルタント(株)(広島市) ・(株)中電工(広島市)4名 ・(株)TSSソフトウェア(広島市) ・テンパール工業(株)(広島市) ・(株)東洋シート(広島県) ・(株)ドコモCS中国(広島市)2名 ・テラル(株)(広島県) ・戸田工業(株)(広島市) ・西川ゴム工業(株)(広島市)2名 ・日鉄日新工機(株)(広島県) ・日本アイピーエム中国ソリューション(株)(広島市)3名 ・(株)ネクストビジョン(広島市) ・ネットヨタ広島(株)(広島市) ・(株)ハイエレコン(広島市)3名 ・(株)日立インフォメーションエンジニアリング(広島市) ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)2名 ・広島市役所(広島市)2名 ・(株)5コーポレーション(広島市) ・福山市役所(広島県) ・(有)ヘリオス(広島市) ・(公財)放射線影響研究所(広島市) ・マツダ(株)(広島県)6名 ・マツダエース(株)(広島県) ・マツダロジスティクス(株)(広島市) ・(学)松本学園 広島県瀬戸内高等学校(数学)(広島市) ・(株)万惣(広島市) ・ローツェ(株)(広島県) ・自営(Web開発)(広島市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ISIDインターテクノロジー(東京都) ・(株)アイ・エル・シー(東京都)3名 ・アイ・ティー・エックス(株)(ITX(株))(神奈川県) ・(株)アイレップ(東京都) ・アクサス(株)(東京都) ・(株)アルプス技研(神奈川県)2名 ・伊藤忠テクノソリューションズ(株)(東京都) ・インターネットウェア(株)(東京都) ・SCSK(株)(東京都) ・NECソリューションイノベータ(株)(東京都)4名 ・NECネットエスアイ(株)(東京都) ・エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)(東京都) ・(株)NTTデータMHIシステムズ(東京都) ・(株)NTTデータMSE(神奈川県) ・(株)FFRI(東京都) ・(株)オークファン(東京都) ・GMOペパボ(株)(東京都) ・(株)オプティム(東京都) ・海洋電子工業(株)(神奈川県)2名 ・キヤノン(株)(東京都) ・協栄産業(株)(東京都) ・(株)KSK(東京都) ・(株)ケイ・シー・シー(東京都) ・KDDI(株)(東京都) ・(株)コア(東京都)2名 ・コンチネタル・オートモーティブ(株)(神奈川県) ・CTCテクノロジー(株)(東京都) ・ジェイ・アール・シー特機(株)(神奈川県) ・(株)ジュピターテレコム(東京都) ・ジョンソンコントロールズ(株)(東京都) ・新川センサテクノロジー(株)(東京都) ・(株)新生銀行(東京都) ・(株)図研(神奈川県) ・(株)SUBARU(東京都) ・(株)ゼネット(東京都) ・(株)セブンティエイティアイティ(東京都)2名 ・全日本空輸(株)(東京都) ・総合警備保障(株)(東京都) ・(株)ディーアンドエムホールディングス(神奈川県) ・(株)ディスコ(東京都) ・(株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社(東京都)2名 ・デフィデ(株)(東京都) ・(株)電通国際情報サービス(東京都) ・東芝メモリ(株)(東京都) ・栃木県市町村職員共済組合(栃木県) ・(株)ニッセイコム(東京都) ・日本信号(株)(東京都) ・日本電気(株)(東京都) ・パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)(東京都) ・(株)日立ICTビジネスサービス(神奈川県) ・(株)日立ソリューションズ(東京都) ・富士ソフト(株)(神奈川県) ・(株)富士通エフサス(東京都) ・(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ(神奈川県)2名 ・(株)富士通ビー・エス・シー(東京都) ・プログレス・テクノロジーズ(株)(東京都) ・ボッシュ(株)(東京都) ・マイクロンメモリジャパン合同会社(東京都) ・三菱電機(株)(東京都) ・三菱電機システムサービス(株)(東京都) ・三菱電機ビルテクノサービス(株)(東京都) ・(株)メイテック(東京都)6名 ・(株)メディアベース(東京都) ・(株)ユーシン(東京都) ・UTテクノロジー(株)(東京都) ・楽天(株)(東京都) ・リコージャパン(株)(東京都) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アステック(株)(大阪府) ・アンダーツリー(株)(大阪府) ・和泉市役所(大阪府) ・伊東電機(株)(兵庫県) ・(株)エヌユーエス(京都府) ・NRIネットコム(株)(大阪府) ・(株)エヌ・エム・ティーフロンティア(大阪府) ・(株)エヌ・ティ・ティ ネオメイト(大阪府) ・(株)NTTフィールドテクノ(大阪府) ・(株)オーシスマップ(兵庫県) ・(株)オペテージ(大阪府) ・(株)島津製作所(京都府) ・シャープ(株)(大阪府)3名 ・積水ハウス(株)(大阪府) ・(株)デンソーテン(兵庫県)3名 ・(株)デンソーテンテクノロジー(兵庫県) ・(株)ナノコネク(兵庫県) ・西日本電信電話(株)(NTT西日本)(大阪府)6名 ・西日本高速道路(株)(NEXCO西日本)(大阪府)2名 ・パナソニック インフォメーションシステムズ(株)(大阪府) ・三菱電機コントロールソフトウェア(株)(兵庫県) ・(株)ライフフーズ(大阪府)



※地域区分について
【関東地域】
 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
【近畿地域】
 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(注) 本社所在地により地域別に整理

《広島県内地域》10社10名

- ・(株)アイ・エム・シーユナイテッド(広島市)
- ・(株)アクセ(広島県)
- ・(株)桑原組(広島市)
- ・三共ポリエチレン(株)(広島県)
- ・(株)GKデザイン総研広島(広島市)
- ・(株)住宅デザイン研究所(広島市)
- ・対馬デザイン事務所(広島市)
- ・(一社)HAP(広島市)
- ・(福)平成会(広島県)
- ・(株)やしま(広島市)

《関東地域》13社13名

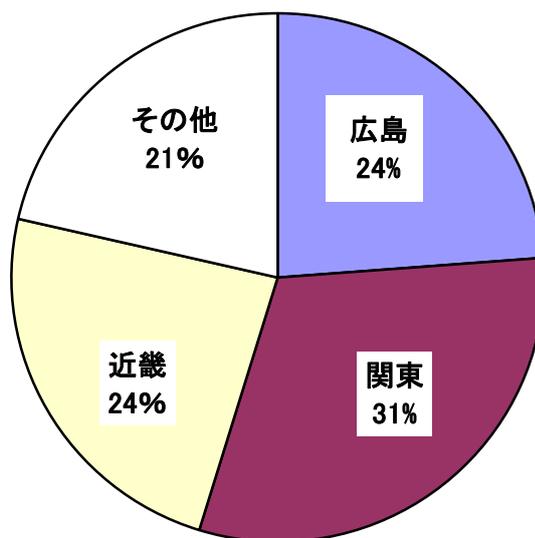
- ・(株)浅野製版所(東京都)
- ・(株)アクティオ(東京都)
- ・(株)ジアス(埼玉県)
- ・SOLIZE Engineering(株)(神奈川県)
- ・(株)テクノプロ・コンストラクション(東京都)
- ・(株)でほギャラリー(東京都)
- ・(株)テレコム・アニメーションフィルム(東京都)
- ・(株)東洋AC(東京都)
- ・(株)ドットゼロ(保留)(東京都)
- ・(株)日立システムズ(東京都)
- ・ハンズ有限会社(千葉県)
- ・(株)MAPPA(東京都)
- ・(株)ロングルアージェ(東京都)

《近畿地域》9社10名

- ・(株)岡墨光堂(京都府)
- ・東風美術工芸(株)(京都府)
- ・(株)さくらペイント(大阪府)2名
- ・ジーク(株)(京都府)
- ・(株)TASAKI(兵庫県)
- ・東リ(株)(兵庫県)
- ・(株)BANKANわものや(京都府)
- ・(株)ピーエーシーウエスト(大阪府)
- ・工芸会社(京都府)

《その他地域》8社8名

- ・(株)ケイ・ウノ(愛知県)
- ・佐賀県立博物館(佐賀県)
- ・静岡県公立学校教員(特支中学部・美術)(静岡県)
- ・上海諾一生活用品有限公司(中国)
- ・新日本印刷(株)(香川県)
- ・(株)ソユー(秋田県)
- ・(株)中央コンタクト(静岡県)
- ・リディアミックス(株)(福岡県)



※地域区分について

【関東地域】

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
千葉県、東京都、神奈川県

【近畿地域】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
奈良県、和歌山県

(注)本社所在地により地域別に整理

6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（2020年4月1日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、補助金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（2003年度から）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（2005年度から）

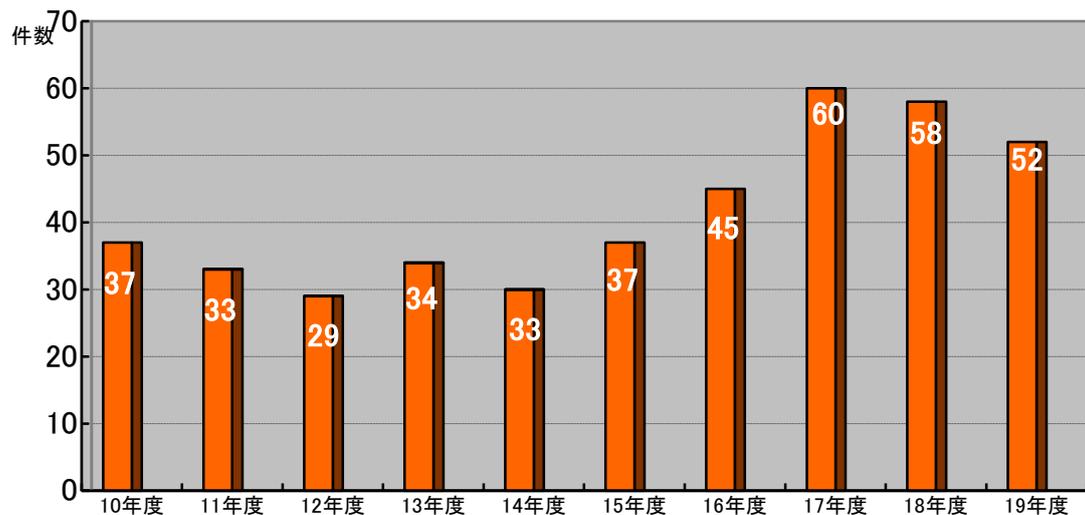
○社会連携センター設置（2007年度 産学官連携推進室から移行）

○地域連携コーディネーターの配置（2008年度から）

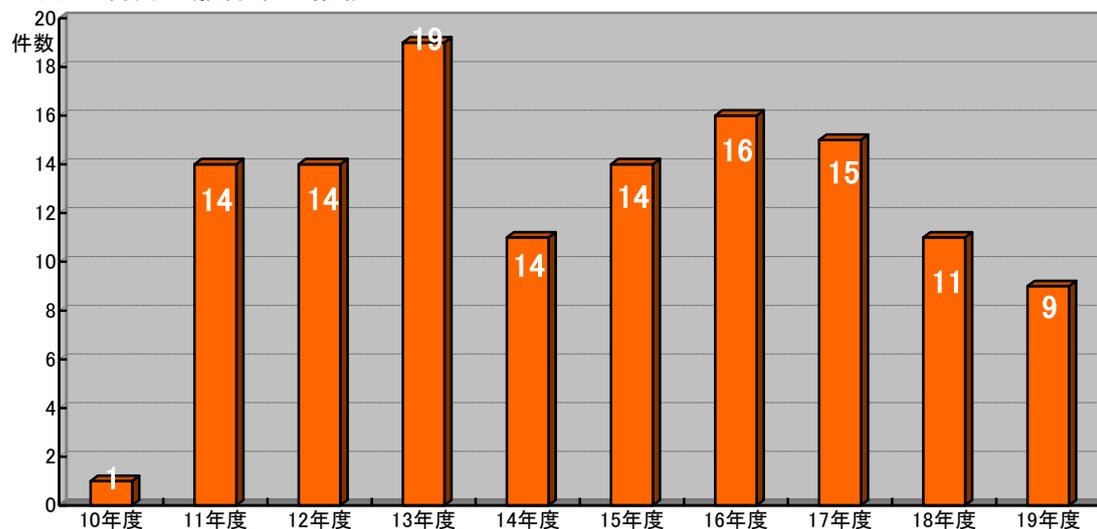
○社会連携コーディネーターの配置（2011年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（2010年度～2019年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○2019 年度開催概要

日時：2019 年 9 月 20 日（金）13：00～16：30

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
5 階研修室、4 階ギャラリー

<プログラム>

・講演会

基調講演：「データドリブン時代を生き抜くチカラ

～軽やかにAIを使いこなそう～

（株式会社NTTドコモ 執行役員

デジタルマーケティング推進部長 白川 貴久子）

研究者講演：「IoTシステムとしてのコネクティッドカーの情報セキュリティ」

（情報科学研究科准教授 井上 博之）

「心を推し量るための人物映像解析技術」

（情報科学研究科准教授 満上 育久）

・マッチングセッション、交流会

〔出展：本学各研究室、本学社会連携センター、（公財）中国地域創造研究センター、広島商工会議所、（一社）広島県発明協会、（公財）広島市産業振興センター〕

<参加者>：2019 年度実績 約 150 名



講演会



マッチングセッション

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○2019 年度開催概要

日時：2019 年 11 月 18 日（月）12：00～15：00

場所：広島市役所 2F 講堂

<プログラム>

・事例発表

① 住民の主体的な避難を支援する草の根災害情報伝搬システム
情報科学研究科 教授 西 正博

② アート活動による地域の魅力づくり

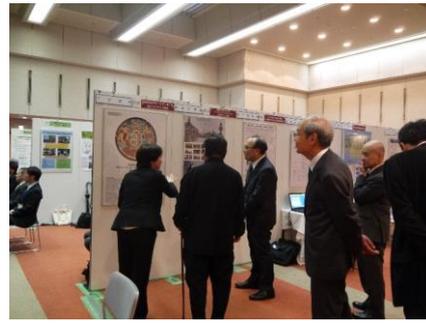
社会連携センター 特任助教 三上 賢治

・パネル等の展示

<参加者>：2019年度実績 約200名



事例発表



パネル展示

◆イベント出展、講演、パネル展示等

- ・ 7月30日～7月31日：自動車工学基礎講座2019（広島）
- ・ 8月29日～8月30日：イノベーション・ジャパン2019（東京）
- ・ 9月24日、11月18日：2019年度ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会（広島）
- ・ 10月3日：マッチングフォーラム（本学）
- ・ 11月13日：広島県信用金庫合同ビジネスフェア2019（広島）
- ・ 11月14日～11月15日：ひろしまIT総合展2019（広島）
- ・ 1月29日：Innovation Potluck #19（広島）

(2) 地域連携

ア 公開講座

≪2019 年度≫

〔国際学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際フェスタに合わせた開催している講座	「世界の中の「日本/JAPAN」—企業論・ジェンダー論・伝統文化論」 〔(公財)広島平和文化センターが主催する「国際フェスタ」の中のプログラムのひとつとして開催している講座。毎年、国際学部研究交流委員会において企画している。〕	11/17	1回	広島国際会議場	無料	100人	44人
市大英語eラーニング講座	【市大英語eラーニング講座】 ①リーディング・リスニング・文法プログラム ②スピーキングプログラム ③ライティングプログラム ④小学校英語教育指導者養成プログラム ⑤通訳ガイド養成プログラム	(第1期) 5/26～8/4	—	・ゆいぽーと ・本学サテライトキャンパス ・本学語学センター(第2期のみ)	① 18,200円	各期 80人	(第1期) 50人
		(第2期) 7/27～10/6			その他 各5,000円		(第2期) 21人
		(第3期) 9/28～12/14					(第3期) 40人
連続公開講座	「異なる文化が会う場所でソマリア、マレーシア、広島での試み」 ① 上映会「イージー・レッスン—児童婚を逃れて」 ② 講演会「多様な社会に向けての「Food Diversity」の可能性と課題について」	①2/1 ②2/15	2回	①広島市まちづくり市民交流プラザ ②本学サテライトキャンパス	無料	各回 60人	①42人 ②31人

〔情報科学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高校生向け	<p>高校生による情報科学自由研究 (全13テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ってチャレンジ！ロボット・サッカー ・最先端VR (Unreal Engine4+ α) でマルチ対戦ゲームを開発してみよう！ ・ビッグデータの科学～Twitterのツイート分析～ ・木構造データからのデータマイニング ・進化的アート～生物の進化を利用した画像生成～ ・無線LANで通信実験！色々な場所で通信速度を調べてみよう ・本当は怖い☆くらい単純な☆コンピュータ～機械語プログラミングでCPUを操る～ ・足し算の不思議を超並列に探ってみよう ・ネットワーク対応の組み込みマイコンをプログラミングしてみよう (IoT技術の学習とその応用の提案) ・校舎の建て替えとインフルエンザ罹患者数の関係 ・沼田川の洪水予測～DNNの予測精度の向上～ ・3DCGモデリング～Auto desk Maya活用～ ・流域雨量取得システムのデータ活用～データ処理の自動化～ 	7～8月	随時	本学各研究室等	無料	1テーマ 5人程度	52人
高校生向け	<p>(高校生による情報科学自由研究) ポスター発表会 ライブキャンパスにて開催</p>	10/14	1回	本学 情報科学部棟 ロビー			参加高校生数 36人 ポスター数 22枚

一般向け	講演会 ・コンピュータによる医薬品、工業原料の設計 ・データによる統計的な比較	11/28	1回	本学 サテライト キャンパス	無料	40人	17人
小中学生向け	ひろしまコンピュータサイエンス 塾—情報科学への道しるべ—	7/28	1回	本学実習室	無料	30人	44人

〔芸術学部開催分〕

区分	講座名		開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
一般向け講座	日本画コース		9/9～13	全5回	本学アトリエ	10,200円	32人	31人
	油絵コース	油絵(専門)	7/29～8/2	全5回	本学アトリエ	12,200円	15人	11人
		油絵(一般)		全5回	本学アトリエ	12,200円	35人	17人
		版画	7/29～8/2	全5回	本学工房	12,200円	15人	13人
	彫刻コース	彫刻	7/28～8/1	全5回	本学アトリエ	10,200円	10人	10人
	デザイン工芸コース	染織造形	7/31～8/4	全5回	本学工房	10,200円	9人	10人
メディア造形		8/1, 2, 7, 8, 9	全5回	本学スタジオ	10,200円	10人	5人	
サマースクール	日本画コース		8/30, 31	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	13人
	油絵コース		8/2, 3	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	18人
	彫刻コース		8/2～4	全3回	本学実習室	8,200円	20人	4人
	デザイン工芸コース		8/3, 4	全2回	本学実習室	6,200円	55人	53人

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
芸術学部社会人講座 (工芸・版画通年コース)	漆	2019/4/9～ 2020/1/17	—	本学工房	212,000 円/年 (週 4 日)	計 10 人 各分野 若干名	0 人
	金工				172,000 円/年 (週 3 日)		3 人
	染織				132,000 円/年 (週 2 日)		4 人
	版画				92,000 円/年 (週 1 日)		5 人
芸術学部社会人講座 (※夏季特別講座)	漆	2019/8/10 ～ 2019/9/30	—	本学工房	42,400 円 (週 4 日)	計 10 人 各分野 若干名	0 人
	金工				34,400 円 (週 3 日)		1 人
	染織				26,400 円 (週 2 日)		1 人
	版画				18,400 円 (週 1 日)		2 人

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

大学連携開催分

〔県立広島大学・広島市立大学連携公開講座〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしま学を考える	お地蔵さんを地域の宝に【県立広島大学】	7/3～7/24 (毎週水曜)	全4回	サテライト キャンパス ひろしま (県立広島 大学 サテライト キャンパス)	無料	80人	56人
	基町の新しい魅力をつくる基町プロジェクト【広島市立大学】						49人
	7つのエピソードで読み解く広島都市空間【広島市立大学】						49人
	スタジアムと都市【県立広島大学】						49人
言語を通じて世界を知る	発信する英学：日本の文化をどう伝えるか【県立広島大学】	10/4～ 10/25 (毎週金曜)	全4回	本学 サテライト キャンパス	無料	40人	51人
	スペイン語はどのようにして世界に広まったのか？—スペイン帝国の言語政策と文書主義について考える—【広島市立大学】						49人
	国際化する社会の中で—日本語のこれから—【県立広島大学】						44人
	戦間期における亡命ロシア人：言語・ネットワーク・創造力【広島市立大学】						37人

〔広島平和研究所開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座	グローバル・ガバナンス論の現状と課題	10/4～ 11/1 (毎週金曜)	全5回	合人社ウエンディ ひと・まちプ ラザ(袋町)	無料	100人	92人
	地球環境問題とグローバル・ガバナンス						82人
	安全保障共同体論の現状と課題						82人
	東アジアの軍事・核ガバナンスの障害						79人
	国際連合による集団安全保障制度の理論と実際—アジアの事例を主な素材として						77人

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ヒロシマ平和セミナー前期	グローバル化と民族主義の相克—エスニック政治の復活と「自国第一主義」の行方	6/15	全1回	本学 サテライト キャンパス	無料	60人	8人
	PRの歴史社会学—平和の創造につながる関連性とは						
ヒロシマ平和セミナー後期	北東アジアの信頼関係の構築—北朝鮮の非核化への道	10/5	全1回	本学 サテライト キャンパス	無料	60人	17人
	日中関係の正常な軌道とは何か						

区分	講座名	開催時期	回数	場所	受講料	定員	受講者
英語による市民講座	American victims of radiation exposure	1/17～2/7 (毎週金曜)	全4回	本学 サテライト キャンパス	無料	40人	30人
	Ethnic peace process in Myanmar						29人
	Climate fiction and the environmental crisis						32人
	The Korean hibakusha movement: challenges and opportunities						20人
研究フォーラム	法的観点から見る日韓関係の現状と展望—韓国大法院判決を中心に—	4/22	1回	本学 サテライト キャンパス	無料	40人	40人
	マルティン・ニーメラーと東ドイツ：1950年～1984年	7/4	1回				19人
	反核ドキュメンタリー “TOTEM & ORE” の制作：2014年～2019年	11/26	1回				10人
国際シンポジウム	核兵器と反人道罪のない世界へ	12/15	1回	広島国際会議場地下2階 ヒマワリ	無料	450人	280人

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際ワークショップ	歴史の記憶と日韓関係	11/16	全1回	広島文化交流会館	無料	100人	84人
	日韓関係の現状と課題						
	日韓関係の現状と課題						
	国連の対北朝鮮制裁の現状と課題						
	日米韓の対北朝鮮制裁の現状と課題						
	北朝鮮の核開発と米朝首脳会談の行方						

イ その他の事業

◆行政課題解決への協力

- ・基町プロジェクト（2013年7月広島市策定「基町住宅地区活性化」に掲げるにぎわい再生事業）
- ・あさみなみ芸術化構想 2019
- ・「広島湾七大海の幸」の消費拡大のための効果的なポスター制作
- ・西国街道に設置するデザインマンホールふたのデザイン制作
- ・比治山公園「平和の丘」の案内サイン制作

◆NPO、市民などとの協働事業

- ・野呂山芸術村事業実行委員会「わんぱくアート 2019」
- ・筆の里工房 25周年記念連携展特別企画「出張キャンパス」、「幼稚園・保育園対象ワークショップ」
- ・広島市文化財団「浅野氏広島城入城 400年 子ども伝統文化教室 伝統文化体験コース」

など

ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況（2019年度に任期が含まれたものを対象）

【理事長・学長、理事・副学長】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※1
広島市	公益財団法人広島市文化財団	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※2
広島市	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※3
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/14	～ ※4
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2020/3/31
広島県	広島県留学生活躍支援センター	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/5/21	～ ※5
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※6
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※7
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※8
その他	公益財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	一般社団法人公立大学協会	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/5/27	～ ※9
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/6	～ ※10
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/27	～ ※11
その他	岡山県立大学（おokayまCOC+推進協議会）	おokayまCOC+外部評価委員会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/1	～ 2021/3/31

※1 2019年度事業に関する定時評議会の終結の時まで

※2 2022年に開催する定時評議員会の終結の時まで

※3 2023年定時評議員会の終結の時まで

※4 2022年度に関する定時評議員会の終結の時まで

※5 2020年5月開催の評議員会まで

※6 2020年6月開催予定の定時評議員会の終結の時まで

※7 2020年度に関する定時総会の終結の時まで

※8 2020年6月の評議員会終結の時まで

※9 2020年度定時総会まで

※10 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

※11 2021年6月の定時社員総会の日まで

【国際学部】

	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ヴェール・ウルリケ	2017/9/5	～ 2019/9/4
広島市	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	教授	柿木 伸之	2016/6/1	～ 2020/5/31
広島市	公益財団法人広島市文化財団	「美術ひろしま31」第3回編集委員	教授	関村 誠	2020/1/17	
広島市	公益財団法人広島市文化財団	文化活動助成事業審査委員	准教授	山口 えり	就任承諾日	～ 2020/3/31
広島県	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田 育子	2014/12/24	～ 2022/12/24
広島県	広島県都市計画課	広島県都市計画審議会委員	教授	太田 育子	2018/2/1	～ 2022/1/31
広島県	広島県総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	金谷 信子	2018/12/1	～ 2020/11/30
広島県	広島県企画経営チーム	広島県総合計画審議会委員	教授	寺田 英子	就任承諾日	～ 2020/3/31
広島県	広島県	広島県海域利用審査会委員	教授	寺田 英子	2017/9/1	～ 2019/8/31
広島県	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県博物館協議会	准教授	城市 真理子	2019/8/20	～ 2021/8/19
その他	読売新聞広島総局	高円宮杯全日本中学校弁論大会広島県大会審査員	教授	岩井 千秋	2019/9/28	
その他	大竹市	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷 信子	2015/7/6	～ 2020/3/31
その他	大竹市市民生活部自治振興課	大竹市市民活動助成審査委員会	教授	金谷 信子	2016/6/1	～ 2020/5/31
その他	呉市都市部技術管理室	呉市公共事業評価委員会	教授	寺田 英子	2019/1/1	～ 2020/12/31
その他	三原市文化課	平成29年度企画展覧会運営協議会委員	准教授	城市 真理子	2017/10/1	～ 2019/9/30
その他	三原市文化課	三原市文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	2017/11/8	～ 2019/4/30

その他	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	2020/1/1	～	2021/12/31
-----	-----------------	---------------	-----	--------	----------	---	------------

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始		終了
その他	公益財団法人広島市みどり生きもの協会	評議員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2016/6/9	～	2020年6月評議会まで
その他	公益財団法人ひろしま産業振興機構	公益財団法人ひろしま産業振興機構経営委員会委員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	就任承諾日	～	2020年6月理事会まで
国	知的財産高等裁判所	東京高等裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所所属の専門委員	教授	弘中 哲夫	2018/10/1	～	2020/9/30
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2018/10/1	～	2020/9/30
その他	公益財団法人広島市観光コンベンションビューロー	広島産学公連携MICE推進協議会委員	教授(社会連携センター長)	竹澤 寿幸	2018/7/1	～	2020/6/30
国	総務省総合通信基盤局	「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」専門評価員	准教授	高橋 賢	承諾日	～	2020/11/30
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	2019/2/16	～	2021/2/15
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	運営委員会委員、大学間・高大連携委員会委員	教授	弘中 哲夫	2019/4/1	～	2021/3/31
広島県	広島県	広島県個人情報保護審議会委員	教授	前田 香織	2019/4/1	～	2021/3/31
その他	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田 香織	2019/6/1	～	2021/5/31
広島市	広島市企画総務局	広島市情報政策アドバイザー・ボード委員	教授	前田 香織	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会放送部会幹事	教授	西 正博	2019/4/1	～	2020/3/31
国	総務省情報流通行政局地方情報化推進室	地域情報化アドバイザー	教授	前田 香織	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	一般財団法人 電子情報技術産業協会	IEC国際規格原案作成委員会委員	教授	田中 宏和	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	広島市立沼田高等学校	学校協力者会議委員	教授	永山 忍	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	就任承諾日	～	2020/3/31
広島県	広島県企画経営チーム	広島県総合計画審議会委員	教授	前田 香織	就任承諾日	～	2020/3/31
その他	広島市立美鈴が丘高等学校	学校協力者会議委員	教授	松原 行宏	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	株式会社 情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	2019/7/1	～	2020/3/31
その他	広島県立祇園北高等学校	学校運営協議会委員	教授	角田 良明	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	一般財団法人画像電子学会	総務理事	教授	田中 宏和	2019/4/1	～	2020/3/31
広島県	広島県	広島県文書管理システム調達意見聴取	教授	前田 香織	2019/4/1	～	2021/3/31
その他	株式会社NHKテクノロジーズ	「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討会」委員	教授	西 正博	2019/6/1	～	3030/3/31
広島県	広島県立安西高等学校	安西高等学校学校運営協議会委員	教授	井上 智生	2019/4/1	～	2020/3/31
広島県	広島県立祇園北高等学校	祇園北理数研究校運営指導委員	教授	井上 智生	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	ETA-AAL推進協議会	ETA-AAL推進協議会理事	教授	田中 宏和	2019/7/11	～	2023/6/30
広島県	広島県立広島井口高等学校	広島県立広島井口学校運営協議会委員	准教授	内田 智之	2019/4/1	～	2020/3/31
国	総務省行政管理局	電子政府推進員	教授	前田 香織	2019/8/1	～	(2年間)
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	准教授	高野 知佐	2019/9/1	～	2021/8/31
その他	文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター	科学技術専門家ネットワーク専門調査員	准教授	梶山 朋子	承諾日	～	2020/3/31
広島県	一般社団法人パワーデバイス・イネープリング協会	半導体テスト技術者検定課題検討委員	教授	井上 智生	2019/9/1	～	2020/8/31
その他	千葉大学	テニュアトニック助教中間評価委員	教授	藤坂 尚登	2019/9/13	～	2023/9/13
その他	広島大学	GSC広島コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	2019/9/1	～	2020/3/31
その他	鳥取県県土整備部技術企画課	鳥取県公募型プロポーサル方式受注者選定等委員会	教授	前田 香織	2019/11/1	～	2020/10/31
その他	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)成果展開支援の在り方検討会構成員	教授	前田 香織	2019/11/27	～	2020/3/31
その他	総務省(株式会社三菱総合研究所)	「Connected Car社会の実現に向けた複数のITS用無線システムを統合的に活用するための技術的条件等に関する調査検討会」の構成員	准教授	井上 博之	2019/11/13	～	2020/3/31
その他	総務省(合同会社 WhiteMotion)	Connected Car 技術試験事務(セキュリテイ)調査検討会構成員主査	准教授	井上 博之	承諾日	～	2020/3/31
その他	一般財団法人CTC未来財団	奨学金選考委員	教授	前田 香織	承諾日	～	2021年6月中
その他	公益財団法人放射線影響研究所	情報技術部長 採用委員会委員	教授	前田 香織	2019/4/1	～	2020/3/31
その他	文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター	科学技術専門家ネットワーク専門調査員	准教授	梶山 朋子	承諾日	～	2021/3/31

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市経済観光局産業振興部商業振興課	広島市特産品等ブランド化推進審議会委員	教授	吉田 幸弘	2019/4/1	～ 2021/3/31
広島市	広島県環境県民局文化芸術化	第7回新県美展(第71回広島県美術展) 審査員	教授	吉田 幸弘		2019/6/5
広島市	広島県環境県民局文化芸術化	第7回新県美展(第71回広島県美術展) 審査員	教授	前川 義春		2019/6/6
呉市	呉市文化スポーツ部文化振興課	呉市立美術館運営審議会 委員	教授	前川 義春	2017/7/1	～ 2019/6/30
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	広島市ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員	教授	南 昌伸	委嘱の日	～ 2020展覧会終了まで
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	公益財団法人広島市産業振興センター理事	教授	吉田 幸弘	2018/6/1	～ 2019定時評議員会まで
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	2018.10.20	～ 2020.10.19
広島市	国土交通省中国地方整備局	太田川河川整備懇談会委員	教授	吉田 幸弘		承認日～1年間
広島市	経済観光局産業振興部商業振興課	広島市特産品等ブランド化推進審議会委員	教授	吉田 幸弘	2019/4/1	～ 2021/3/31
広島市	NHK広島放送局	日本放送協会中国地方放送番組審議会委員	教授	笠原 浩	2019/5/1	～ 2021/4/30
広島市	広島広告協会	「第40回広島広告企画制作賞」審査会委員	教授	及川 久男		2019/4/24
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	平成31年度工業技術支援アドバイザー	教授	及川 久男	2019/4/1	～ 2020/3/31
広島市	広島県高校生技能オリンピック実行委員会	第11回広島高等学校技能オリンピック建築製図部門審査員	教授	吉田 幸弘		2019/5/26
広島市	公益財団法人広島市文化財団佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2019」講師	教授	森永 昌司	2019/8/10	～ 2019/8/11
石川県	石川県輪島漆芸美術館	「漆芸の未来を拓くー生新の時2019ー」コーディネーター	教授	大塚 智嗣		2019/6/8
広島市	手作りフェアin広島 実行委員会	第6回広島ジュニアハンドメイド大賞審査委員長	教授	及川 久男	2019/9/13,25 2019/10/4,19	
広島市	広島市教育委員会	平成31年度「青少年からのメッセージ」審査委員	助教	向川 貴晃	許可日	～ 2019/11/16
呉市	呉市教育委員会	呉市立美術館運営審議会委員会委員	教授	前川 義春	2019/7/1	～ 2021/6/30
広島市	中国五県造形教育研究大会広島大会実行委員会	第34回中国五県造形教育研究大会並びに58回広島県造形研究大会助言者	教授	森永 昌司		2019/11/1
広島市	広島県高等学校美術連盟	第18回広島県高等学校絵画・彫刻コンクール 審査員	教授	伊東 敏光		2019/11/12
広島市	広島県高等学校美術連盟	第18回広島県高等学校絵画・彫刻コンクール 審査員	教授	藁谷 実		2019/11/12
広島市	(公財)広島市文化財団文化財課	浅野氏広島城入城400年記念事業伝統文化継承事業講師	教授	南 昌伸	2020/2/15	～ 2020/2/16
広島市	(公財)広島市文化財団文化財課	浅野氏広島城入城401年記念事業伝統文化継承事業講師	教授	永見 文人	2020/2/15	～ 2020/2/16

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	理事	所長	大芝 亮	2019/4/1	～ 2021年6月評議会まで
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和未来会議2019実行委員会委員	准教授	竹本 真希子	2019/4/4	～ 2020/3/31
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	大芝 亮	2019/4/1	～ 2021/3/31
その他	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター	平成29年度広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	教授	水本 和実	2019/12/24	～ 2020/3/31
その他	自治労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	准教授	河上 暁弘	2020/2/1	～ 2021/1/31

【附属施設・事務局】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際未来会議2019実行委員会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2019/4/1	～ 2020/3/31
広島県	広島県国際課地域国際化グループ	広島県留学生・大学グローバル化研究会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2019/4/19	～ 2020/3/31
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	幹事	事務局次長	植永 勝成	2019/4/1	～ 2020/3/31
その他	大塚公民館運営委員会	委員	事務局次長	植永 勝成	2019/4/1	～ 2020/3/31
その他	大塚伴南ふれあい祭り実行委員会	委員	事務局次長	植永 勝成	2019/4/1	～ 2020/3/31
その他	安佐南警察署協議会	委員	学生支援室長	川谷 卓哉	2019/4/1	～ 2020/3/31

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（2019年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（三次地区、安芸高田地区、庄原地区）

実施日	曜日	開催時間	開催高校	内 容	人数	出席者
7/12	金	14:40 ～ 15:40	広島県立三次高等学校	文字を使わないで楽しく情報を探す	44	【情報】梶山朋子
7/13	土	10:00 ～ 11:00	広島県立吉田高等学校	ヒューマンインタフェースと人物行動理解	19	【情報】満上育久
7/29	月	10:00 ～ 11:00	広島県立庄原格致高等学校	情報科学とサウンドデザイン	17	【情報】石光教授

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（2019年度）

◆芸術専門講座

- 講座名 「塑像による首像彫刻の制作」
- 参加者 基町高校創造表現コース 生徒17名（2年生14名、3年生3名）、教諭1名
- 日時 2019年8月19日(月)、20日(火)の2日間10:00～17:00
- 実施場所 広島市立大学
- 内 容 彫刻の歴史や技術についての講義と、モデルをよく観察し、頭部を粘土で制作する実技を行う。これらの体験を通し、古くから世界各地で制作されてきた彫刻独自の魅力を学び、知る機会とする。
※ 参加生徒全員分の道具・材料を用意し、一人一点首像を制作する。

◆国際講座

- 講座名 「英語の表現技巧-イディオム、誇張、メタファー」
- 参加者 基町高校3名、舟入高校5名、沼田高校4名、美鈴が丘高校2名、教諭4名
- 日時 2019年8月8日(木)9:00～12:00
- 実施場所 広島市立舟入高等学校
- 内 容 英語の「表現技法」を中心に3つのセッションを行う。セッション1では表現技法や慣用的表現についてのディスカッションを行い、セッション2では誇張と控えめな表現、セッション3では隠喩と直喩について学ぶ。

ウ 高校での模擬授業の開催（2019年度）

実施日	開催時間	場 所	内 容	対象者	人数	担当講師
6/20	木 14:20 ~ 15:10	広島県立廿日市西高校	模擬授業(国際)	2年生	19	城多(国際)
7/4	木 14:30 ~ 16:00	広島県立賀茂高校	模擬授業(情報)	2年生	28	岡山(情報)
			模擬授業(芸術)	2年生	10	中村(芸術)
7/10	水 14:25 ~ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業(芸術)	2年生	41	古賀(芸術)
7/10	水 15:20 ~ 16:20	山口県立熊毛南高校	模擬授業(芸術)	1, 2年生	15	笠原(芸術)
7/11	木 13:25 ~ 14:55	広島県立広島皆実高校	模擬授業(国際)	2年生	20	斎藤(国際)
			模擬授業(情報)	2年生	20	齋藤徹(情報)
7/17	水 14:25 ~ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業(情報)	2年生	21	田村(情報)
			模擬授業(情報)	2年生	21	谷川(情報)
7/17	水 14:35 ~ 15:35	広島市立美鈴が丘高校	模擬授業(国際)	2年生	18	武田(国際)
			模擬授業(情報)	2年生	16	小嵯(情報)
8/8	木 9:00 ~ 12:00	広島市立舟入高校	広島市高大連携 国際講座	全学年	20	ゴーマン(国際)
9/12	木 14:25 ~ 16:15	広島県立安芸南高校	模擬授業(情報)	2年生	34	市原(情報)
9/25	水 14:25 ~ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業(国際)	1, 2年生	15	山口光明(国際)
			模擬授業(情報)	1, 2年生	33	高野(情報)
			模擬授業(芸術)	1, 2年生	22	佐藤(芸術)
9/26	木 15:30 ~ 16:20	広島県立高陽高校	模擬授業(国際)	1年生	17	藤原(国際)
9/27	金 8:55 ~ 9:40	広島国際学院高校	模擬授業(国際)	2年生	32	高久(国際)
10/15	火 14:55 ~ 15:55	山口県立岩国高校	模擬授業(芸術)	2年生	7	前川(芸術)
10/16	水 14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業(情報)	1年生	29	鷹野(情報)
			模擬授業(芸術)	1年生	9	吉田(芸術)
10/17	木 14:36 ~ 15:56	広島県立広高校	模擬授業(情報)	1, 2年生	23	桑田(情報)
11/7	木 13:25 ~ 14:15	広島県立広島観音高校	模擬授業(情報)	2年生	9	河野(情報)
11/14	木 15:25 ~ 16:15	広島市立沼田高校	模擬授業(情報)	1, 2年生	30	永山(情報)
12/18	水 13:00 ~ 15:30	瀬戸内高校	模擬授業(情報)	1, 2年生	47	満上(情報)

(4) その他の連携 (2020年4月1日時点)

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	2005年 12月20日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（2007年10月31日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	2008年 9月30日 2019年2月 21日	・相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。） ・包括的連携協力に関する協定（相互の有機的連携等。定期的に連絡調整。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（2004年9月30日締結）
広島修道大学	2009年 2月19日	・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること	
広島東洋カープ	2009年 3月10日 2019年 11月8日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書 全学を対象とした「インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	2009年 3月16日	・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項	
広島市安佐南区	2010年 9月27日	・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野	
日本公認会計士協会 中国会	2012年 7月31日	・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	2012年 9月21日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	2012年 11月19日	・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学ほか 14校	2014年 4月1日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 ・就職支援 ・就職関連資料の閲覧 ・就職ラウンジの利用 山梨大学、首都大学東京（現東京都立大 学）の加入（2018年8月1日） 長野県立大学の加入（2019年10月1日） 山梨県立大学の加入（2019年12月1日）	（協定締結大学、本学を含む 全15校） 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、信州大学、都留文科大 学、国際教養大学、名古屋 市立大学、山梨大学、東京 都立大学、長野県立大学、 山梨県立大学
呉信用金庫	2014年 11月11日	・地域経済・地域企業の活性化に関する事 項 ・中小企業等の新分野進出・新規事業創出 の支援に関する事項 ・中小企業等の技術および経営管理の相談 や共同事業に関する事項 ・その他前条の目的に沿った諸課題に関する 事項	
広島修道大学商学 部	2015年 3月19日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部
世宗研究所	2016年 2月17日	相互協力に関する協定 ・国際会議の共同開催 ・研究調査及び学術交流 ・研究者の人的交流 ・その他協定の目的を達成するために必要 な事項	
国立ソウル大学校 統一平和研究院	2019年 1月10日	・学術協力及び研究協力 ・学術資料、刊行物等の情報交換における 協力	
特定非営利活動法 人広島横川スポー ツ・カルチャーク ラブ	2019年 3月20日	相互協力に関する協定 ・横川地域における学術・文化・芸術の振 興等 ・横川地域での教職員・学生の活動 ・スポーツクラブの活動等	

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校 (2020年4月1日時点)

計22大学

	国名	締結年月日	主な交流内容
梨花女子大学校	大韓民国	2009年3月4日	教員・学生交流 共同研究等
西京大学校	大韓民国	2005年3月15日	
慶北国立大学校人文大学	大韓民国	2017年11月25日	
国際関係学院	中華人民共和国	2008年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	2006年11月17日	
上海大学	中華人民共和国	2018年11月30日	
蘇州大学	中華人民共和国	2019年3月20日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	2001年1月11日	
ベルリン・バイセンゼー芸術大学	ドイツ連邦共和国	2005年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	2005年10月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	1997年5月30日	
ヴァインガルテン教育大学	ドイツ連邦共和国	2017年12月1日	
ベルリン・フンボルト大学 (学部間協定)	ドイツ連邦共和国	2013年9月24日	
オルレアン大学	フランス共和国	2003年6月4日	
レンヌ第2大学	フランス共和国	2011年10月4日	
マレーシア科学大学	マレーシア	2017年12月21日	
エミリー・カー美術デザイン大学	カナダ	2018年1月15日	
ケベック大学モントリオール校	カナダ	2018年6月4日	
コンコルディア大学	カナダ	2018年6月4日	
ブラッドフォード大学	英国	2018年2月1日	
国連平和大学	コスタリカ共和国	2012年11月6日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	2000年12月12日	

(2) 国際交流事業実績 (2019年度)

事業名	日程	内容	人員等
中国・国際関係学院との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：0名
中国・西南大学との学術交流	教員派遣 2019/9/8～21 教員受入 2019/11/6 学生交換 通年 学生短期派遣 2019/9/8～21	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	教員受入：5名 教員派遣：1名 学生受入：5名 学生派遣：13名 (短期12名)
中国・上海大学との学生交流	学生交換 通年	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：0名
韓国・西京大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：3名 学生派遣：0名
韓国・梨花女子大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・慶北国立大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
マレーシア・マレーシア科学大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：1名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	教職員派遣 2019/6/1～9 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	教職員派遣：4名 学生受入：9名 学生派遣：5名
ドイツ・ベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名

事業名	日程	内容	人員等
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：2名
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流（情報科学部）	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ヴァインガルテン教育大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているヴァインガルテン教育大学との学術交流（国際学部）	学生受入：1名 学生派遣：0名
フランス・オルレアン大学との学術交流	教員派遣 2019/9/3, 9/9 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	教員派遣：3名 学生受入：3名 学生派遣：0名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	教員派遣 2019/9/10-12 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	教員派遣：2名 学生受入：2名 学生派遣：0名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入 2019/7/31～8/9 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入：1名 学生受入：4名 （短期4名） 学生派遣：0名
カナダ・エミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているエミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生受入：1名 学生派遣：0名
語学研修/ハワイ大学英語文化研修	学生派遣 2019/9/1～9/15	アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校での英語文化研修	学生派遣：15名
語学研修/オルレアン大学短期語学研修	学生派遣 2019/8/23～9/23	フランス・オルレアン大学での短期語学研修	学生派遣：11名
語学研修/慶北国立大学校サマースクール	学生派遣 2019/8/11～8/24	韓国・慶北国立大学校での短期語学・文化研修	学生派遣：6名
交流プログラム/米国サンフランシスコ・セントメアリスカレッジの学生との交流	学生派遣 2019/9/19～9/27	セントメアリスカレッジでの授業参加、学生交流やホームステイの実施	学生派遣：6名
交流プログラム/シンガポール・シンガポール国立大学の学生との交流	学生受入 2019/5/22、12/11 学生派遣 新型コロナ感染症拡大のため中止	シンガポール国立大学との学生交流	学生受入：23名 学生派遣：0名
交流プログラム/マレーシア・マレーシア科学大学の学生との交流	学生受入 2019/8/19～8/26 学生派遣 2019/9/12～9/20	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学生交流	学生受入：20名 学生派遣：5名
ハノーバー専科大学サマースクールへの派遣	学生派遣 2019/8/10～8/24	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学（第4学部）サマースクールへの参加	学生派遣：3名
国連平和大学「夏季平和基礎コース」への派遣	学生派遣 2019/8/20～9/14	学術交流協定を締結している国連平和大学「夏季平和基礎コース」への参加	学生派遣：2名
タイ・国立シラパコーン大学のワークショップへの派遣	学生派遣 2020/2/4～2/12	タイ・国立シラパコーン大学のワークショップへの参加、学生交流	学生派遣：3名
台湾・国立台中科技大学からの学生受入	学生受入 2019/7/8～7/14	国立台中科技大学との学生交流	学生受入：14名
韓国・慶北国立大学校からの学生受入れ	学生受入 2020/1/6～1/25	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学生交流	学生受入：20名
夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE 2019」の開催	2019/7/31～8/9	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探求することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催した。	国内外（学外）からの受講者17名、本学学生17名 計34名
広島平和研究所（シンポジウムの開催）	2019/12/15	「核兵器と反人道罪のない世界へ」をテーマに国際シンポジウムを開催し、当研究所の研究成果を市民等に公開した。	280名